

第4次三鷹市基本計画策定に向けた
団体意向調査

報告書

平成23年3月

三鷹市

目 次

I. アンケート調査の概要	1
II. 調査結果の概要	3
(1) 団体の概要	3
(2) 活動状況（問1）	4
(3) 団体を継続・発展させるために必要なこと（問2）	4
(4) 他団体や自治体と協力した事業の取り組み実績と理由（問3）	5
(5) 団体が活動を通じて認識している地域の諸課題と解決に向けた取り組み（問4、問5） ..	5
(6) 三鷹市が今後取り組むべき課題（問6）	5
III. 調査結果	6
1 団体の概要	6
(1) 団体の種類	6
(2) 団体設立年	8
(3) 団体の会員構成	9
(4) 会員数、性別の構成	10
(5) 活動の場所	14
(6) 団体の年間収入額	18
(7) 活動費の獲得方法	19
(8) 団体の活動の対象者	22
(9) 団体の活動内容	24
2 団体の活動状況	26
(1) 活動状況の変化	26
(2) 団体活動を継続、発展させていくために必要なこと	37
(3) 他団体や自治体との協力事業の実績と意向.....	41
3 三鷹市のまちづくりについて	49
(1) 活動を通じて認識している地域やその他の諸課題.....	49
(2) 課題解決に向けて必要と考えられる取り組み.....	50
(3) 今後の取り組み	51
(4) その他の今後重点的に取り組むべき施策.....	53

I. アンケート調査の概要

① 実施の目的と実施方針

◇実施の目的

三鷹市は、現行の総合計画である第3次基本計画において、平成13年度から10年間の計画期間としているが、最終年次となる平成22年度は次期総合計画となる第4次基本計画（平成23年から12年間の計画を予定）の策定に向けた本格的な準備に取り組むこととしている。その取り組みのひとつとして、市内を中心に活動する市民団体・グループの活動状況や意向を把握するため、団体意向調査を実施した。

◇実施方針

■多角的な市民参加の環境整備のポイントの明確化

- ・参加・協働の担い手として期待される団体の実態やその活性化に向けた支援や環境整備に対するニーズを明らかにする。

■市の施策へのニーズの明確化

- ・市の施策に対する各団体のニーズや認識を明らかにし、新たな基本計画における施策の重要性などの検討材料を得る。

② 調査方法

■調査手法：

郵送配布・郵送留置法

■調査対象：

三鷹市を中心に活動する市民団体・グループ

■調査対象団体の抽出方法

三鷹市の公共施設の利用登録団体、市との連携事業実施団体等市が把握する団体

■調査期間：

平成23年2月1日～2月15日

■調査対象サンプル数及び回収状況：

- ・標本数 1, 295
- ・有効回収数 779（総回収数785 無効票6）
- ・有効回収率 60.2%

③ 調査項目

実施方針に即して、以下のような調査項目を設定した。

1) 団体の概要

- ・団体の性格
- ・団体の会員構成
- ・会員数、性別の構成
- ・中心的な世代
- ・団体が使用している施設、場所
- ・団体の年間収入額
- ・活動費の獲得方法
- ・活動の対象者
- ・団体の活動内容

2) 団体の活動状況

- ・活動状況の変化（人数、中心的な担い手、専門人材、年齢層、分野）
- ・団体活動を継続、発展させていくために必要なこと
- ・連携事業実施の実績と意向（その理由）

3) 地域の諸課題（自由記入）

4) その解決方法（自由記入）

5) 三鷹市が取り組んでいる事項で重点的に取り組むべきこと

6) 新たに重点的に取り組むべきこと（自由記入）

II. 調査結果の概要

(1) 団体の概要

- ・本調査では団体を学習的活動の団体、地縁的活動の団体、社会的活動の団体の3つに分類（分類の基準はP 7参照）して分析を行った。各分類の団体の特徴は以下のとおり。

①学習的活動の団体

- ・設立年度は比較的新しい団体が多く、一団体あたりの平均的な会員数も少ない。会員構成では市外在住者も参加する団体が多く、性別では女性の割合が比較的大きい。
- ・活動場所は96%の団体が三鷹市の施設を利用しており、コミュニティ・センター、社会教育会館の利用が多い。
- ・年間の収入額は比較的小さい団体が多く、その財源も会費や個人負担の割合が比較的多く、行政や財団、第三セクター等からの補助・助成金を受けている団体は少ない。また、活動内容はスポーツ・音楽など芸術・文化の指導に取り組んでいる団体が多い。

②地縁的活動の団体

- ・活動期間が長い団体が多く、一団体あたりの平均的な会員数は多い。また、会員構成では三鷹市の一定地区に住む市民のみで活動している団体が多く、性別では男性の割合が全体と比較して大きい。
- ・活動場所は三鷹市の施設、団地の集会所を利用している団体が多く、次いで地区公会堂、コミュニティ・センターの利用が多い。
- ・年間の収入額は比較的大きい団体が多く、その財源は会費や個人負担とともに、行政や財団、第三セクター等からの補助・助成金を受けている団体が多い。また、活動内容は地域の親睦のための活動、環境・美化・リサイクル活動、防犯パトロール、会報誌やメールなどでの情報提供、交通安全活動、高齢者や障がい者の支援活動などに取り組んでいる団体が多い。

③社会的活動の団体

- ・設立年度は比較的新しい団体が多く、一団体あたりの平均的な会員数は全体と比較してやや多い。会員構成では三鷹市の一定地区に住む市民のみで活動している団体、三鷹市民のみで活動している団体、他市区町村の住民も含む団体が概ね同じ割合となっている。
- ・活動場所は三鷹市の施設を利用している団体が多く、コミュニティ・センター、地区公会堂、社会教育会館の利用が多い。
- ・年間の収入額は全体とほぼ同様の傾向だが、その財源は会費や個人負担とともに、行政や財団、第三セクター等からの補助・助成金を受けている団体が多い。また、活動内容

は地域の親睦のための活動、高齢者や障がい者の支援活動、会報誌やメールなどでの情報提供、講演会やシンポジウムの開催などに取り組んでいる団体が多い。

(2) 活動状況(問1)

①メンバーの構成

- ・メンバーの人数、活動の中心的な担い手となる人材は増えた団体よりも減った団体が多いが、専門性や技術を有する人材は減った団体よりも増えた団体がわずかながら多くなっている。また、メンバーの年齢層は約6割の団体が高齢化している。「その他の変化」への回答にもメンバーの高齢化や若年層の不足をあげる団体が多い。
- ・学習的活動の団体は、全体と比較して、活動の中心的な担い手となる人材、専門性や技術を有する人材とも人数が変わらない団体が多い。
- ・地縁的活動の団体は、全体と比較して、メンバーの人数は変わらない、活動の中心的な担い手となる人材は減った、専門性や技術を有する人材はいないという団体が多い。また、メンバーの年齢層が高齢化している団体が多い。
- ・社会的活動の団体は、全体と比較して、メンバーの人数及び活動の中心的な担い手となる人材は減った、専門性や技術を有する人材は減ったまたはいないという団体が多いが、学習的活動の団体、地縁的活動の団体と比較して増えた団体の割合が最も大きい。また、メンバーの年齢層において、若い人が増えた団体の割合が全体と比較してやや大きい。

②活動の分野

- ・活動の分野は狭くなった団体より広がった団体が多い。
- ・全体と比較して、学習的活動の団体は変わらない団体が多く、地縁的活動の団体及び社会的活動の団体では狭くなった団体が多い。
- ・また、新しい団体、様々な地域の住民が主体となっている団体、男女比のバランスが取れている団体、収入規模の大きい団体、若い人が増えた団体ほど広がった団体が多い。

(3) 団体を継続・発展させるために必要なこと(問2)

- ・団体の活動を継続、発展させていくためには、活動の担い手となる人材の確保と拠点となる活動の場の確保を必要とする団体が特に多い。
- ・全体と比較して、学習的活動の団体は拠点となる活動の場の確保、地縁的活動の団体及び社会的活動の団体は、活動の担い手としての人材の確保を必要とする団体が特に多い。また、メンバーの人数の多い団体ほど活動の担い手としての人材の確保を必要とする団体が多い。

(4) 他団体や自治体と協力した事業の取り組み実績と理由（問3）

- ・他団体や自治体との協力の実績がある団体が4割弱を占めており、実績はないがその意向を有する団体も2割弱見られる。
- ・全体と比較して、社会的活動の団体、活動期間が長い団体、様々な地域の住民が主体となっている団体、規模が大きい団体、男女比のバランスが取れている団体、会員数が増えた団体、中心的担い手や専門的人材、若い人が増えた団体において、実績がある団体が多い。
- ・他の団体や自治体と協力し事業を行う（または行いたい）理由としては、活動の質の向上をあげる団体が多い。
- ・全体と比較すると、地縁的活動の団体は他団体とのつながりを拡大・強化するため、社会的活動の団体は活動の質を高くするため、活動の公共性を高めるためをあげる団体が多い。

(5) 団体が活動を通じて認識している地域の諸課題と解決に向けた取り組み（問4、問5）

- ・各団体が活動を通じて認識している地域等の課題としては、生涯学習及びスポーツに係る施設の充実や活動の活性化、高齢化とそれに対応した福祉サービスの充実、コミュニティ施設の充実や活動の活性化、子育て支援・少子化対策などが多くあげられている。また、こうした課題の解決策としては、地域の人々や団体の協力や連携を強化するとともに、課題にあげられた各種施設やその運営を充実することが必要との意見が多くなっている。

(6) 三鷹市が今後取り組むべき課題（問6）

- ・三鷹市が取り組んでいる施策のうち、今後も引き続き重点的に取り組むべき事項としては、いつまでも元気に暮らせる「健康長寿社会」、ともに支えあう地域社会を生み出す「コミュニティ創生」、成熟した都市の質的向上を目指す「都市の再生」などが多くあげられている。
- ・学習的活動の団体は概ね全体と同様の回答傾向であるが、地縁的活動の団体では心安らかに暮らせる「安全安心」、社会的活動の団体では「安心して子どもを育てるための子育て支援」の回答が全体と比較して多い。
- ・その他、自由記入において特に意見が多かった重点的に取り組むべき事項として、高齢者福祉・介護施設及びサービスの充実、行財政改革の推進、道路交通環境の整備などがあげられた。

III. 調査結果

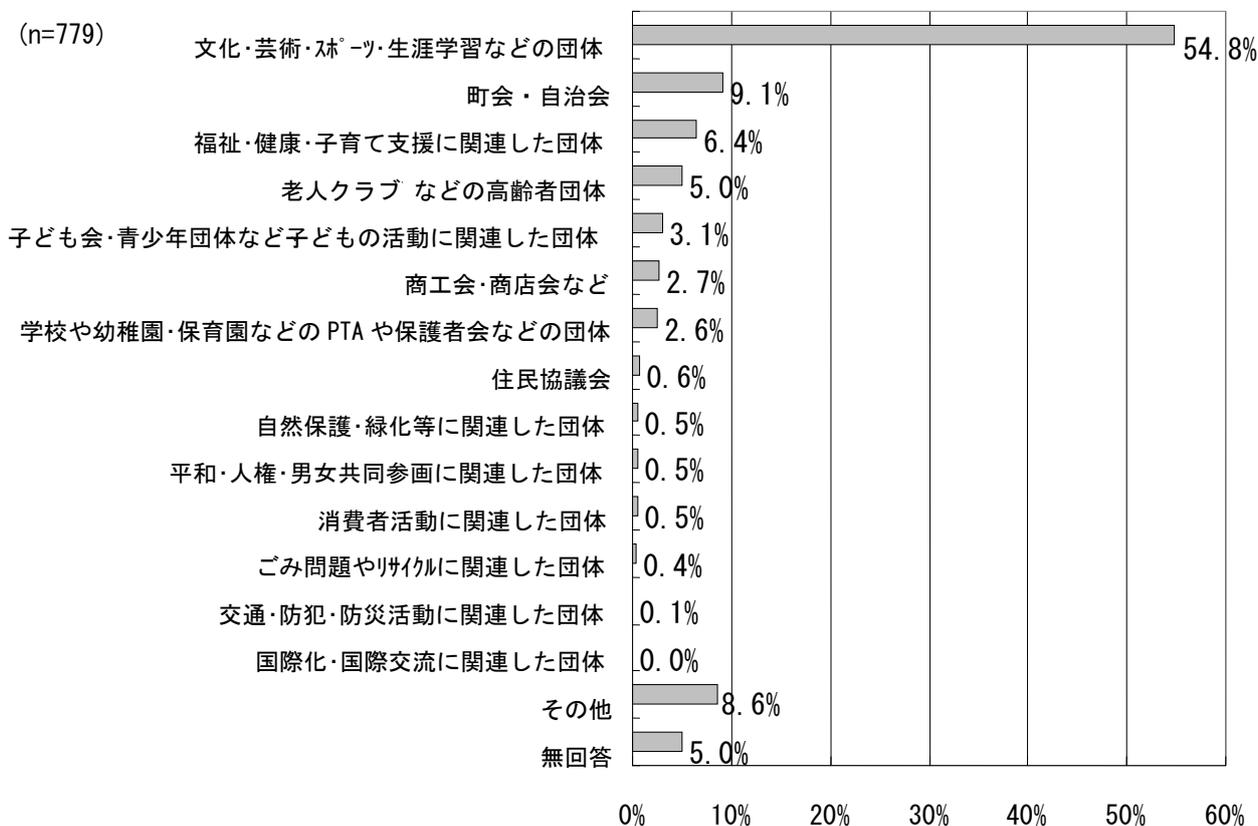
1 団体の概要

(1) 団体の種類

F 1 あなたの団体の性格は、次にあげる種類のどれにあたりますか。主なものを1つだけ選んで○印をつけてください。

「文化・芸術・スポーツ・生涯学習などの団体」(54.8%)が最も多く、次いで「町会・自治会」(9.1%)、「福祉・健康・子育て支援に関連した団体」(6.4%)の順となっている。

図表 1 団体の種類 (単一回答)



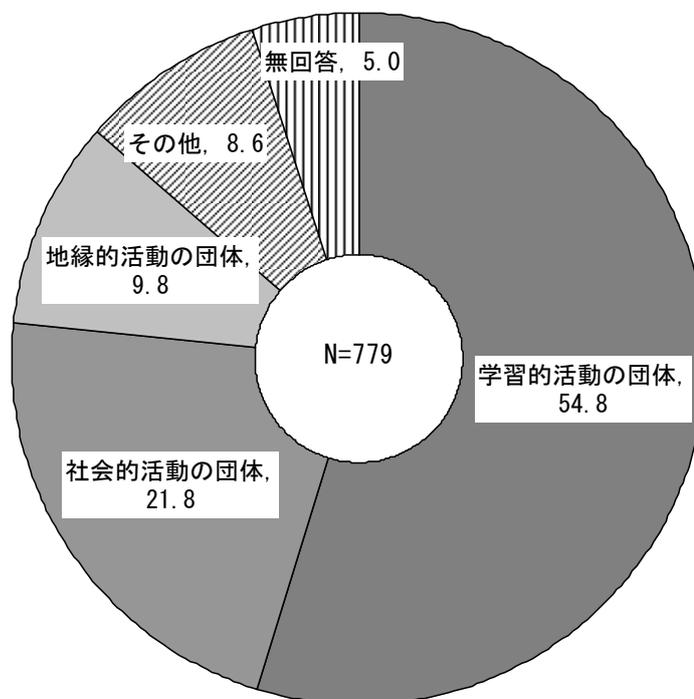
■分類別集計結果

F 1 の団体種類を、その活動の内容・目的等により、以下の3つに分類した。

学習的活動の団体	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化・芸術・スポーツ・生涯学習などの団体
地縁的活動の団体	<ul style="list-style-type: none"> ● 町会・自治会 ● 住民協議会
社会的活動の団体	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ問題やリサイクルに関連した団体 ● 自然保護・緑化等に関連した団体 ● 学校や幼稚園・保育園などのPTAや保護者会などの団体 ● 交通・防犯・防災活動に関連した団体 ● 福祉・健康・子育て支援に関連した団体 ● 平和・人権・男女共同参画に関連した団体 ● 国際化・国際交流に関連した団体 ● 消費者活動に関連した団体 ● 子ども会・青少年団体など、子どもの活動に関連した団体 ● 老人クラブなどの高齢者団体 ● 商工会・商店会など

分類にもとづく集計では、学習的活動の団体が 54.8%で最も多く、次いで社会的活動の団体 21.8%、地縁的活動の団体 9.8%となっている。

図表 2 団体の種類（単一回答）（%）



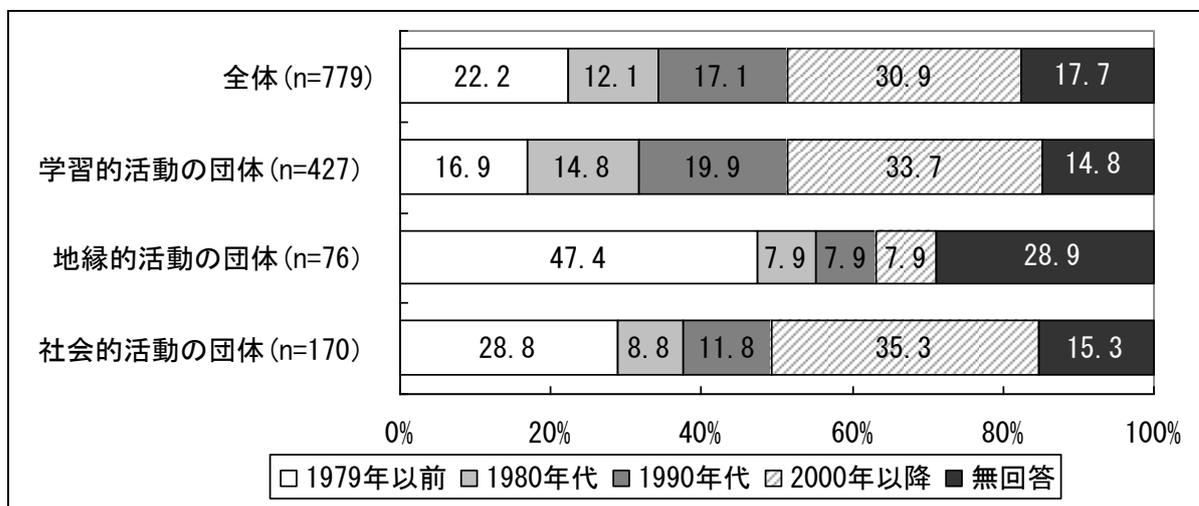
(2) 団体設立年

団体の設立年（活動を開始した年）は、「2000年以降」（30.9%）が最も多く、次いで「1979年以前」（22.2%）、「1990年代」（17.1%）の順となっている。

■ 団体種類別に見た特徴

全体と比較して、学習的活動の団体では「1979年以前」の割合が小さく、1980年代以降に設立された団体の割合がそれぞれやや大きい。地縁的活動の団体では「1979年以前」の割合が特に大きく、それ以降に設立された団体の割合が小さい。社会的活動の団体は「1979年以前」、「2000年以降」の割合の両方が全体と比較して大きくなっている。

図表 3 団体の種類別 団体設立年（単一回答）



(3) 団体の会員構成

F2 あなたの団体の会員はどのような方方で構成されていますか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

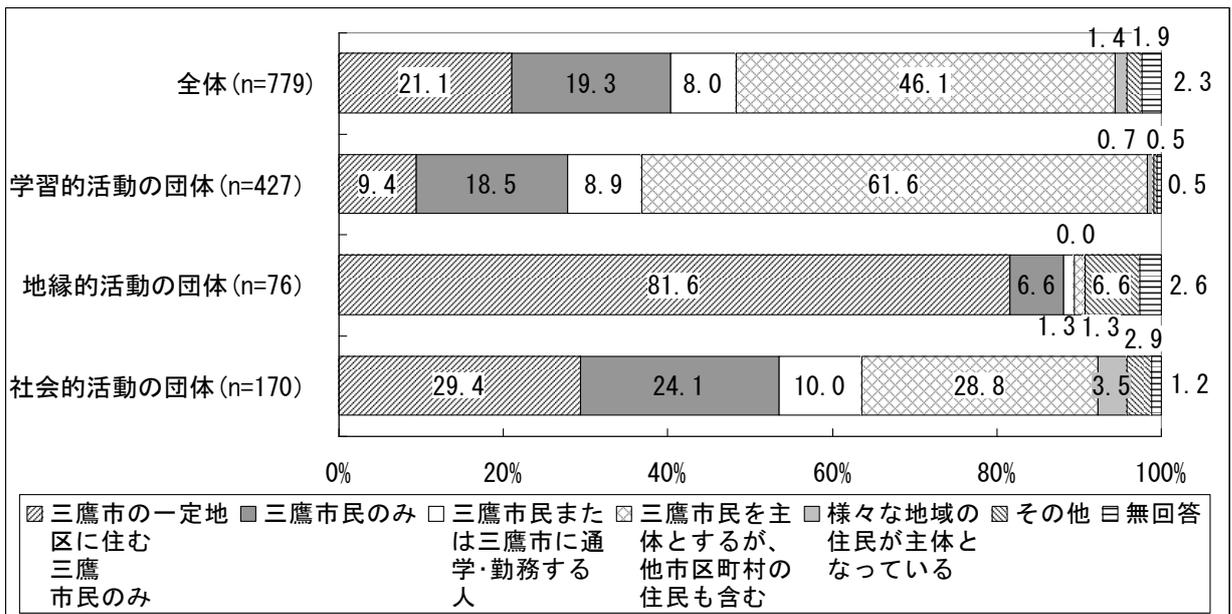
「三鷹市民を主体とするが他市区町村の住民も含む」(46.1%)が最も多く、次いで「三鷹市の一定地区に住む三鷹市民のみ」(21.1%)、「三鷹市民のみ」(19.3%)、「三鷹市民または三鷹市に通学・勤務する人」(8.0%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「三鷹市民を主体とするが他市区町村の住民も含む」の割合が特に増加し、「三鷹市の一定地区に住む三鷹市民のみ」の割合が特に減少している。

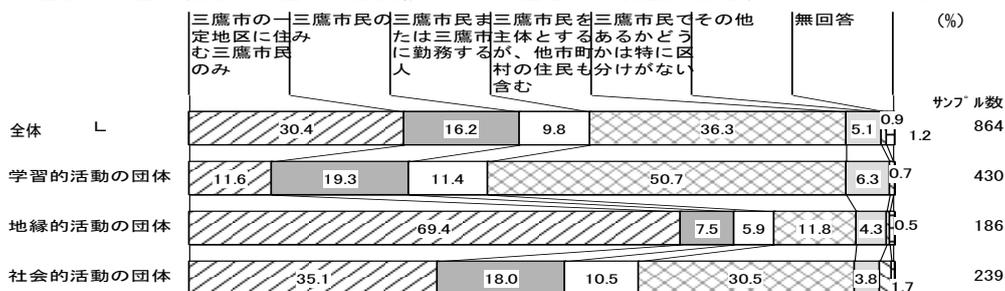
■ 団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「三鷹市民を主体とするが他市区町村の住民も含む」、地縁的活動の団体では「三鷹市の一定地区に住む三鷹市民のみ」の割合がそれぞれ全体と比較して大きい。社会的活動の団体では「様々な地域の住人が主体となっている」の割合が、学習的活動の団体、地縁的活動の団体と比較して最も大きい。

図表4 団体種類別 会員構成 (単一回答)



図表5 団体種類別 団体の会員構成 (単一回答) < 前回調査結果 (平成13年3月) >



※なお、団体分類別集計値のうち「地縁的活動の団体」「社会的活動の団体」については前回調査と今回調査で分類が異なるため単純な比較はできない (以下同様)。

(4) 会員数、性別の構成

F3 あなたの団体の会員数と、性別の構成をお答えください。また、あなたの団体の活動を担っているのは主にどのような年齢層の人達ですか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

① 会員数

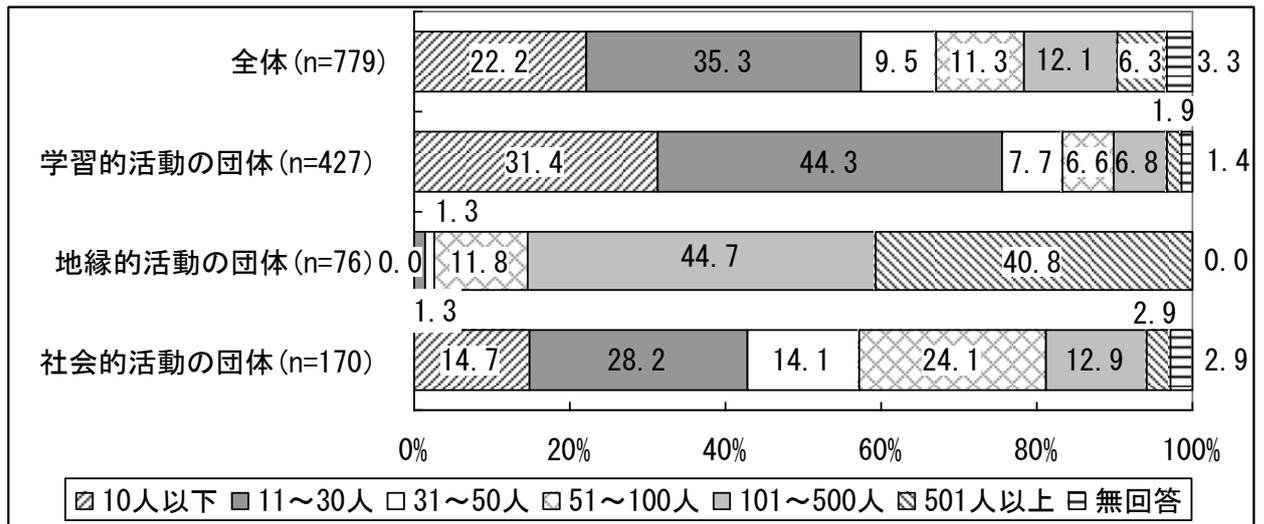
「11～30人」(35.3%)が最も多く、次いで「10人以下」(22.2%)、「101～500人」(12.1%)、「51～100人」(11.3%)の順となっている。

前回調査と比較すると「10人以下」、「501人以上」の団体の割合が特に増加している。

■ 団体種類別に見た特徴

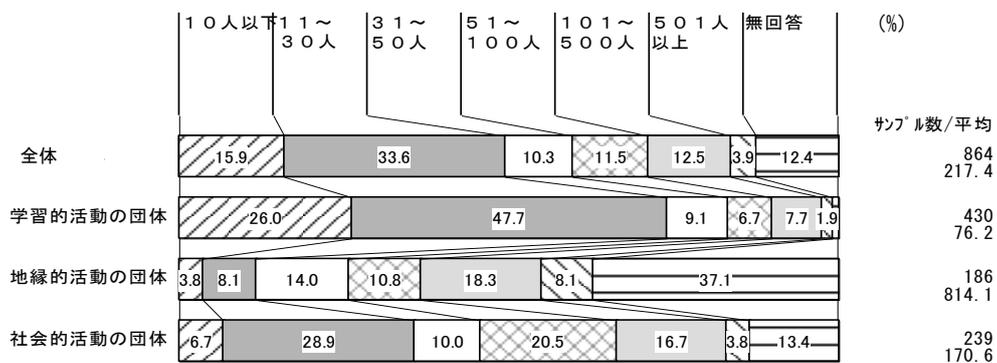
学習的活動の団体では30人以下の団体の割合が7割を超えている。一方地縁的活動の団体は101人以上の団体の割合が8割を超えている。社会的活動の団体も比較的会員数規模の多い団体の割合が大きく、31人以上の団体が過半数を占めている。

図表6 団体種類別 団体の会員数(単一回答)



注) 会員数または世帯数で回答を求め、会員数の回答を得たものは会員数を、世帯数の回答のみであったものは世帯数に平均世帯人員2.02(平成23年1月1日時点)を世帯に乗じた数値を会員数とした。

図表7 団体種類別 団体の会員数(単一回答) <前回調査結果(平成13年3月)>



② 会員の性別割合

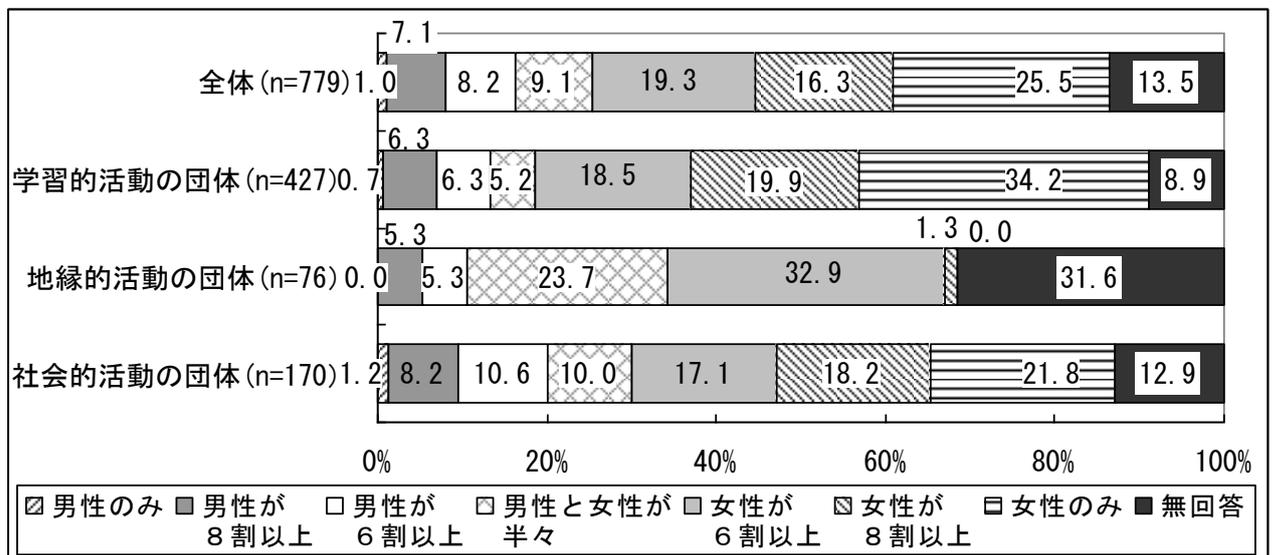
「女性のみ」(25.5%)が最も多く、次いで「女性が6割以上」(19.3%)、「女性が8割以上」(16.3%)、「男性と女性が半々」(9.1%)の順となっている。

前回調査と比較すると概ね同様の傾向を示しているが、女性だけの団体の割合がわずかながら増加している。

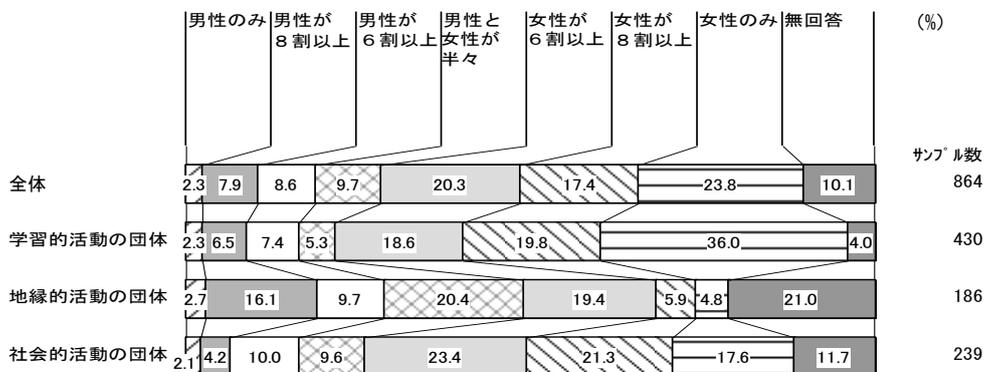
■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「女性が8割以上」と「女性のみ」の割合が大きく、これらで全体の過半数を占めている。地縁的活動の団体では「女性が6割以上」、「男性と女性が半々」の割合が大きくなっている。社会的活動の団体は概ね全体と同様の傾向を示している。

図表 8 団体種類別 会員の性別割合 (単一回答)



図表 9 団体種類別 会員の性別割合 (単一回答) <前回調査結果 (平成13年3月)>



③ 主な世代

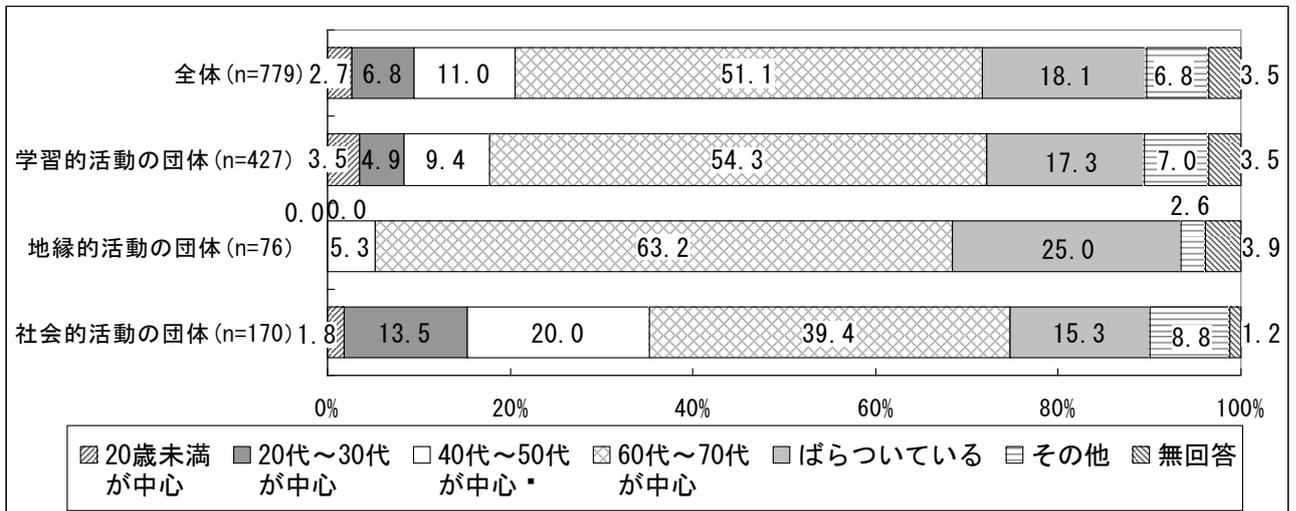
活動を担う主な年齢層について、「60代～70代が中心」（51.1%）が最も多く、次いで「ばらついている」（18.1%）、「40代～50代が中心」（11.0%）、「20代～30代が中心」（6.8%）」の順となっている。

選択肢の表現が異なることに留意が必要であるが、前回調査と比較すると、「60代～70代が中心」の割合が特に増加し、「40代～50代が中心」の割合が特に減少している。

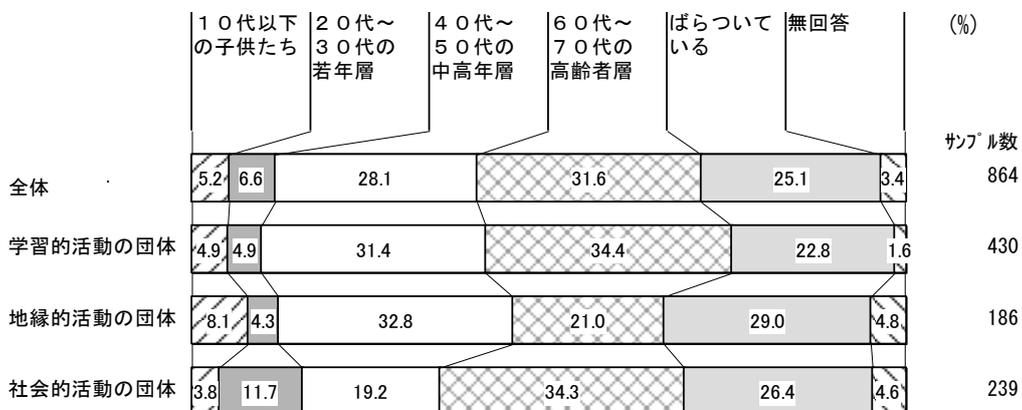
■ 団体種類別に見た特徴

地縁的活動の団体では「60代～70代が中心」及び「ばらついている」が、社会的活動の団体では「20代～30代が中心」、「40代～50代が中心」の割合がそれぞれ全体と比較して特に大きい。

図表 10 団体種類別 主な世代（単一回答）



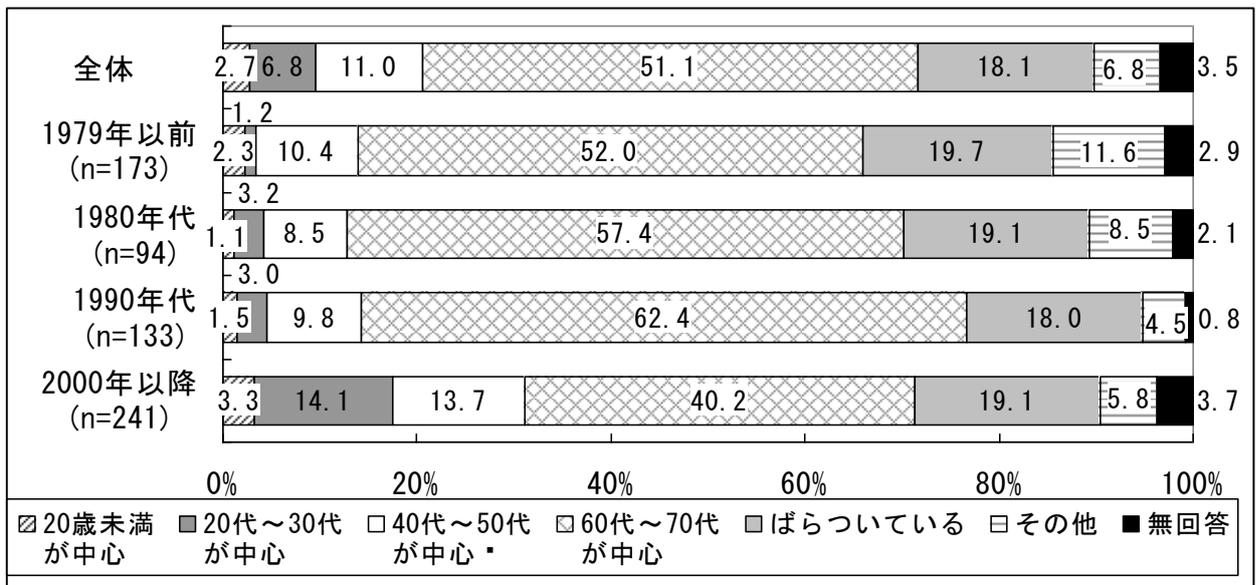
図表 11 団体種類別 主な世代（単一回答）＜前回調査結果（平成13年3月）＞



■設立年代別に見た特徴

全体と比較して、2000年以降に設立された団体では50代までの世代の割合が大きく、特に20～30代の割合が大きくなっている。

図表 12 設立年代別 主な世代（単一回答）



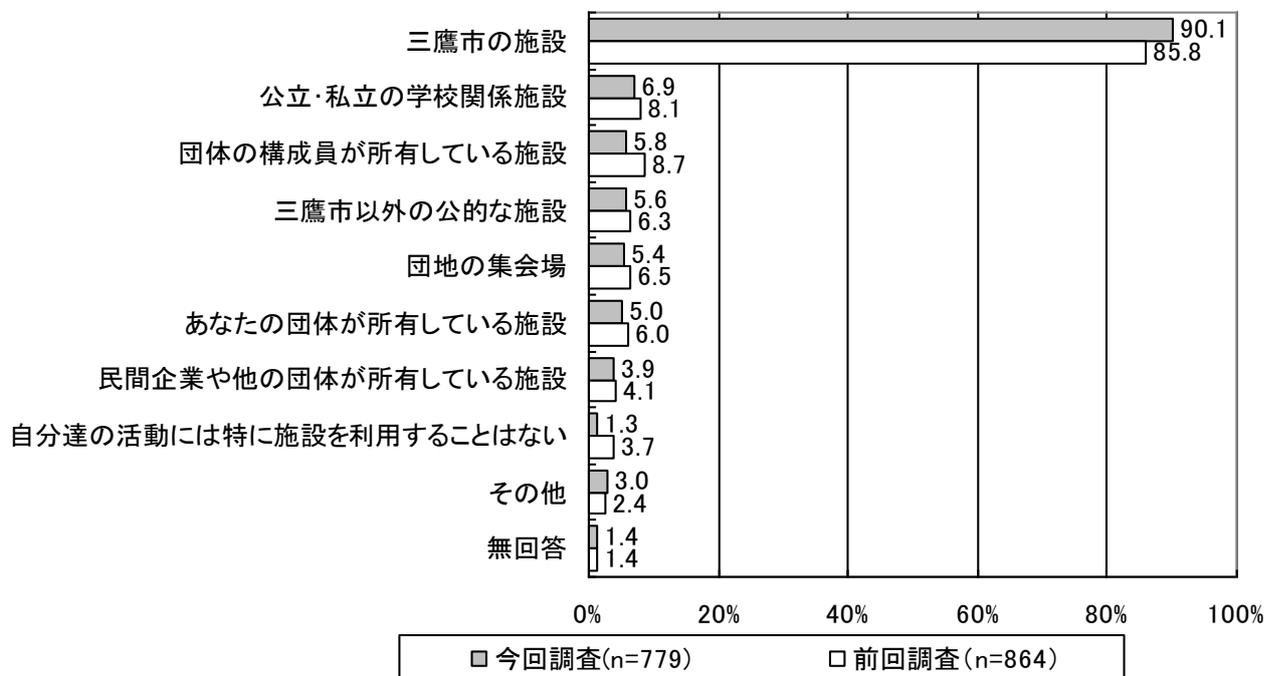
(5) 活動の場所

① 活動場所の種類

F 4 あなたの団体はどのような場所や施設を使って活動していますか。次の中から現在お使いになっているものをすべてお答えください。

「三鷹市の施設」(90.1%)が最も多く、「次いで公立・私立の学校関係施設」(6.9%)、「団体の構成員が所有している施設」(5.8%)、「三鷹市以外の公的な施設」(5.6%)の順となっている。前回調査結果もほぼ同様の傾向となっている。

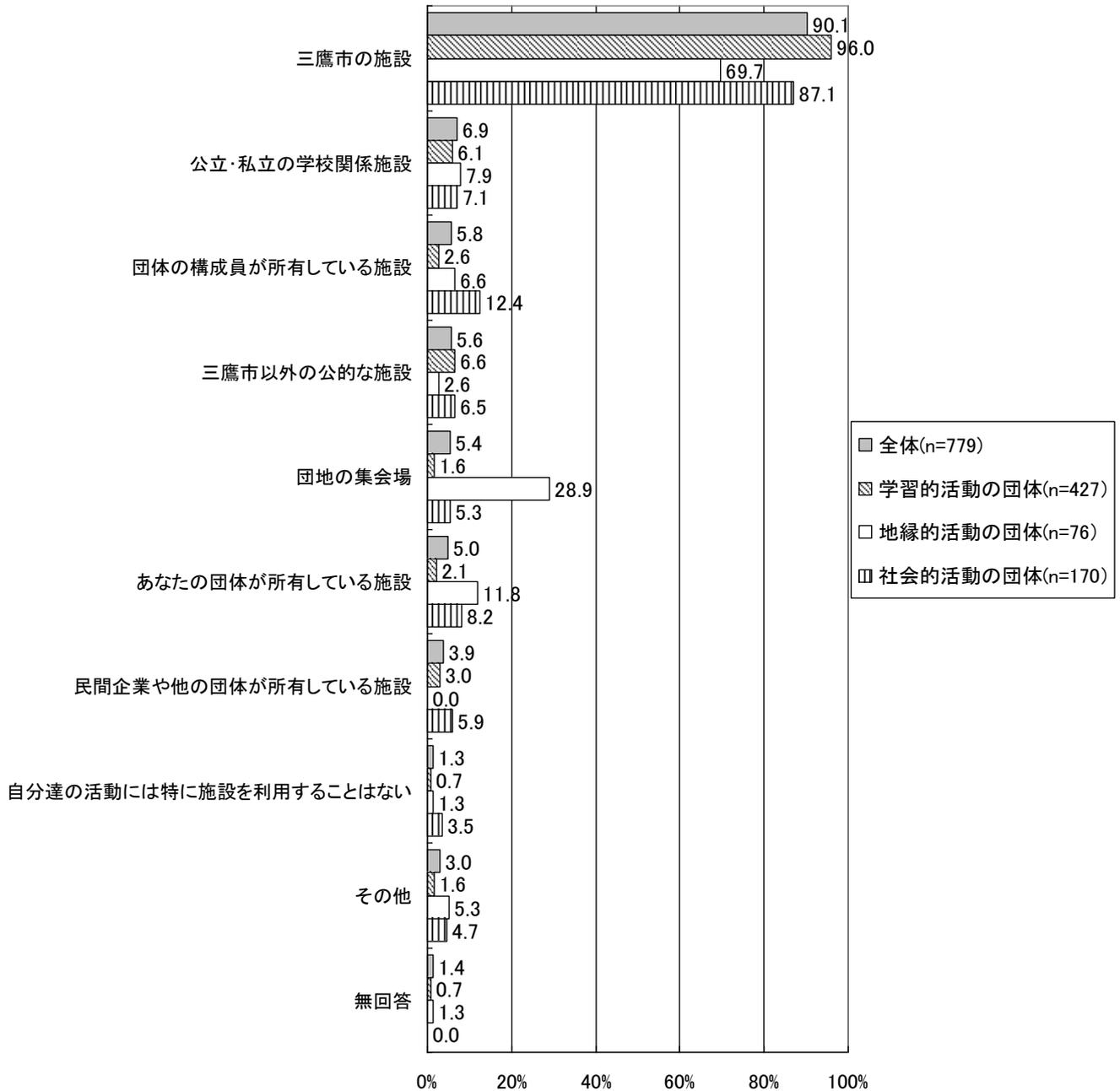
図表 13 主な活動場所の種類(複数回答) <前回調査結果(平成13年3月)との比較>



■ 団体種類別に見た特徴

団体種類別でも概ね全体と同様の傾向が見られるが、地縁的活動の団体は、全体と比較して「三鷹市の施設」の割合が小さく、「団地の集会場」の割合が大きい。

図表 14 団体種類別 主な活動場所の種類（複数回答）

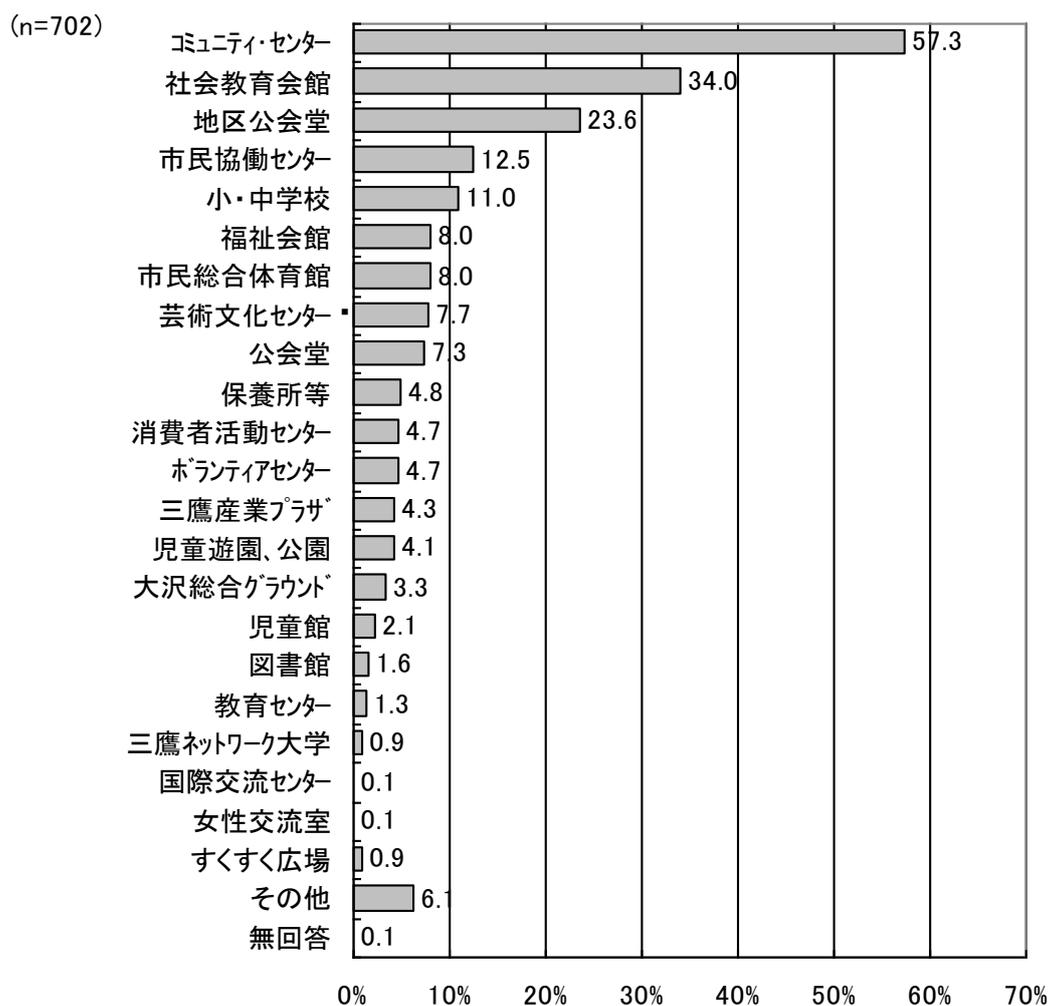


② 使用したことのある三鷹市の施設

F 4 - 1 あなたの団体がお使いになっている三鷹市の施設はどれですか。次の中から団体として利用したことのある施設をすべてお答えください。

「コミュニティ・センター」(57.3%)が最も多く、次いで「社会教育会館」(34.0%)、「地区公会堂」(23.6%)、「市民協働センター」(12.5%)の順となっている。

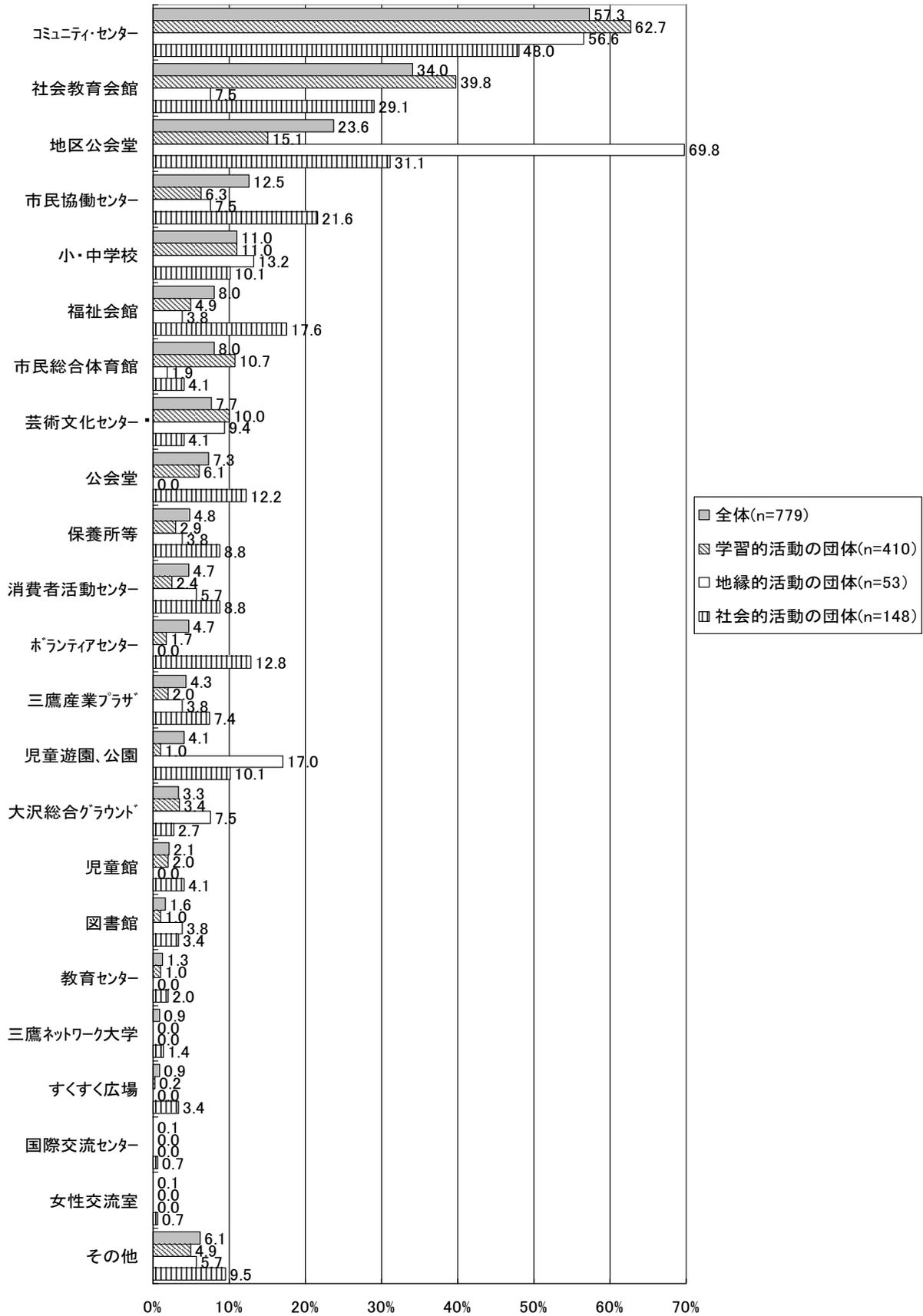
図表 15 使用したことのある三鷹市の施設（複数回答）



■ 団体種類別に見た特徴

団体種類別でも概ね全体と同様の傾向が見られるが、全体と比較して、地縁的活動の団体では「地区公会堂」の割合が特に大きく、社会的活動の団体では「市民協働センター」、「福祉会館」、「ボランティアセンター」の割合が特に大きい。

図表 16 団体種類別 使用したことがある三鷹市の施設（複数回答）



(6) 団体の年間収入額

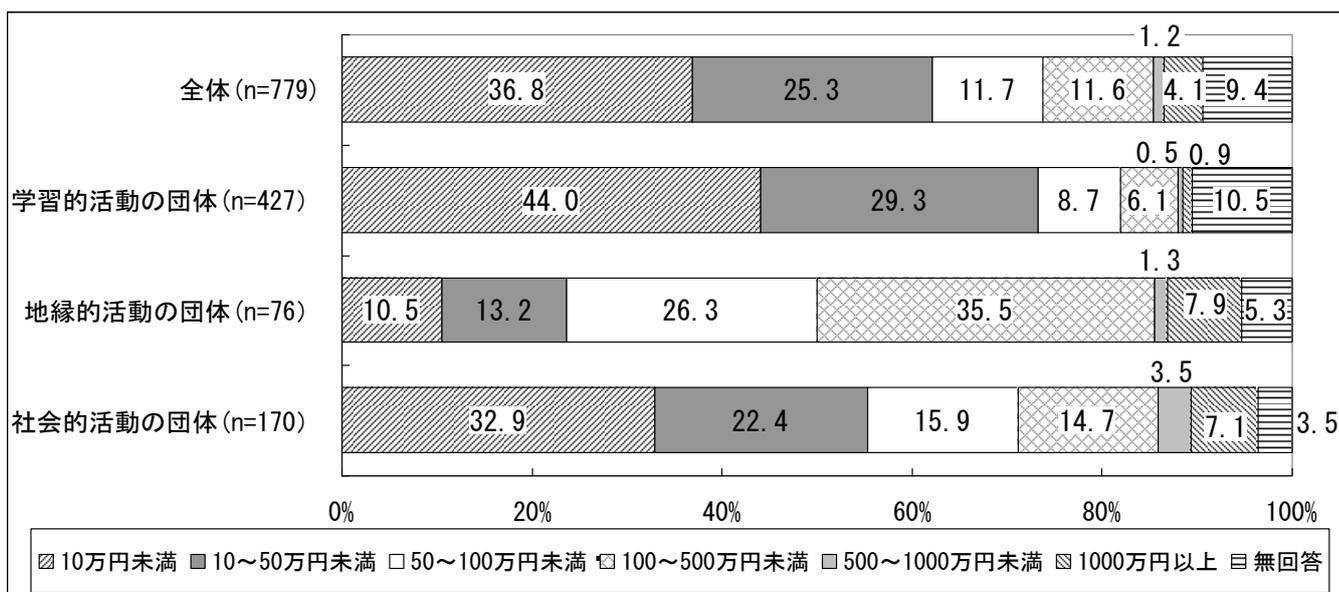
F5 あなたの団体の最近3年間における平均的な年間収入総額はどのくらいですか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。会費収入、補助金収入、委託料など複数の収入項目がある場合には、その合計でお答えください。

「10万円未満」(36.8%)が最も多く、次いで「10～50万円未満」(25.3%)、「50～100万円未満」(11.7%)、「100～500万円未満」(11.6%)の順となっており、50万円未満の団体が全体の約6割を占めている。また、前回調査もほぼ同様の傾向を示しているが、特に10万円未満の団体の割合が増加した。

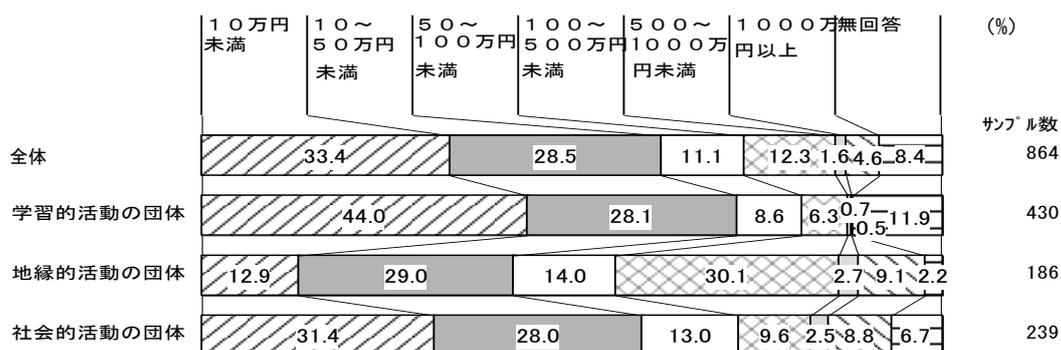
■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では全体と比較して「10万円未満」の割合が大きい一方、地縁的活動の団体では全体と比較して「100～500万円未満」の割合が特に大きいなど50万円以上の団体が約7割を占める。

図表 17 団体種類別 年間収入額 (単一回答)



図表 18 団体種類別 年間収入額 (単一回答) < 前回調査結果 (平成 13 年 3 月) >



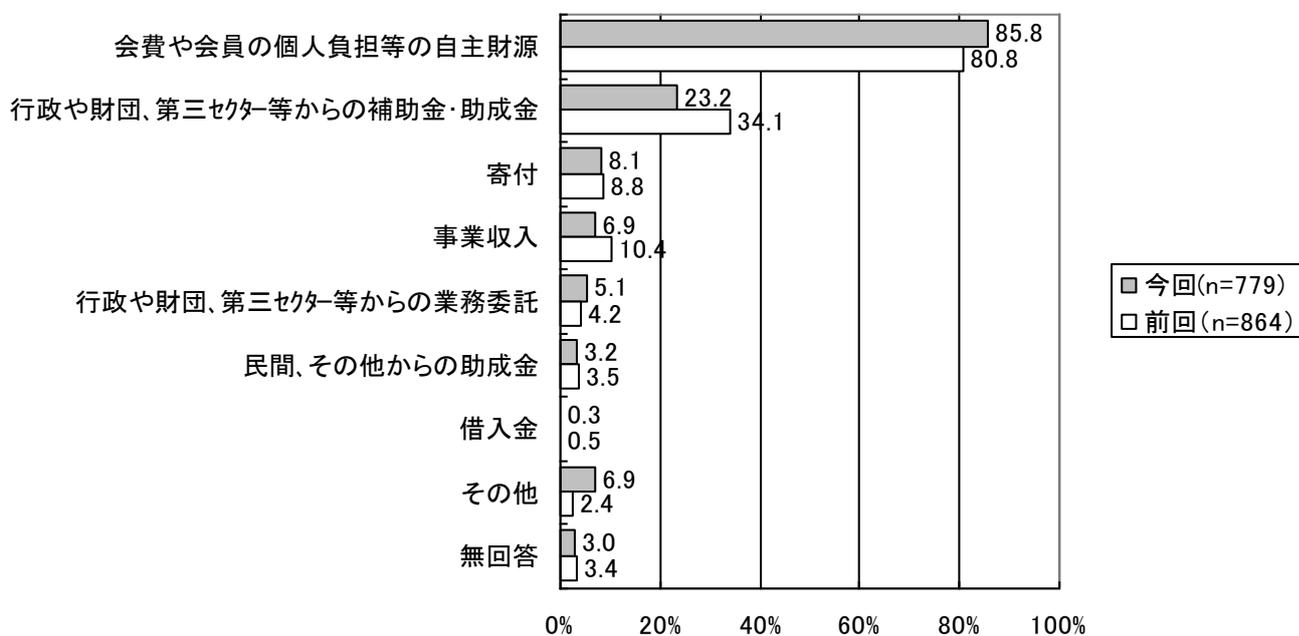
(7) 活動費の獲得方法

F 6 あなたの団体は活動費をどのような方法で得ていますか。

「会費や会員の個人負担等の自主財源」(85.8%)が最も多く、次いで「行政や財団、第三セクター等からの補助金・助成金」(23.2%)、「寄付」(8.1%)、「事業収入」(6.9%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「会費や会員の個人負担等の自主財源」と「行政や財団、第三セクター等からの業務委託」の割合が増加し、「行政や財団、第三セクター等からの補助金・助成金」、「事業収入」等の割合が減少している。

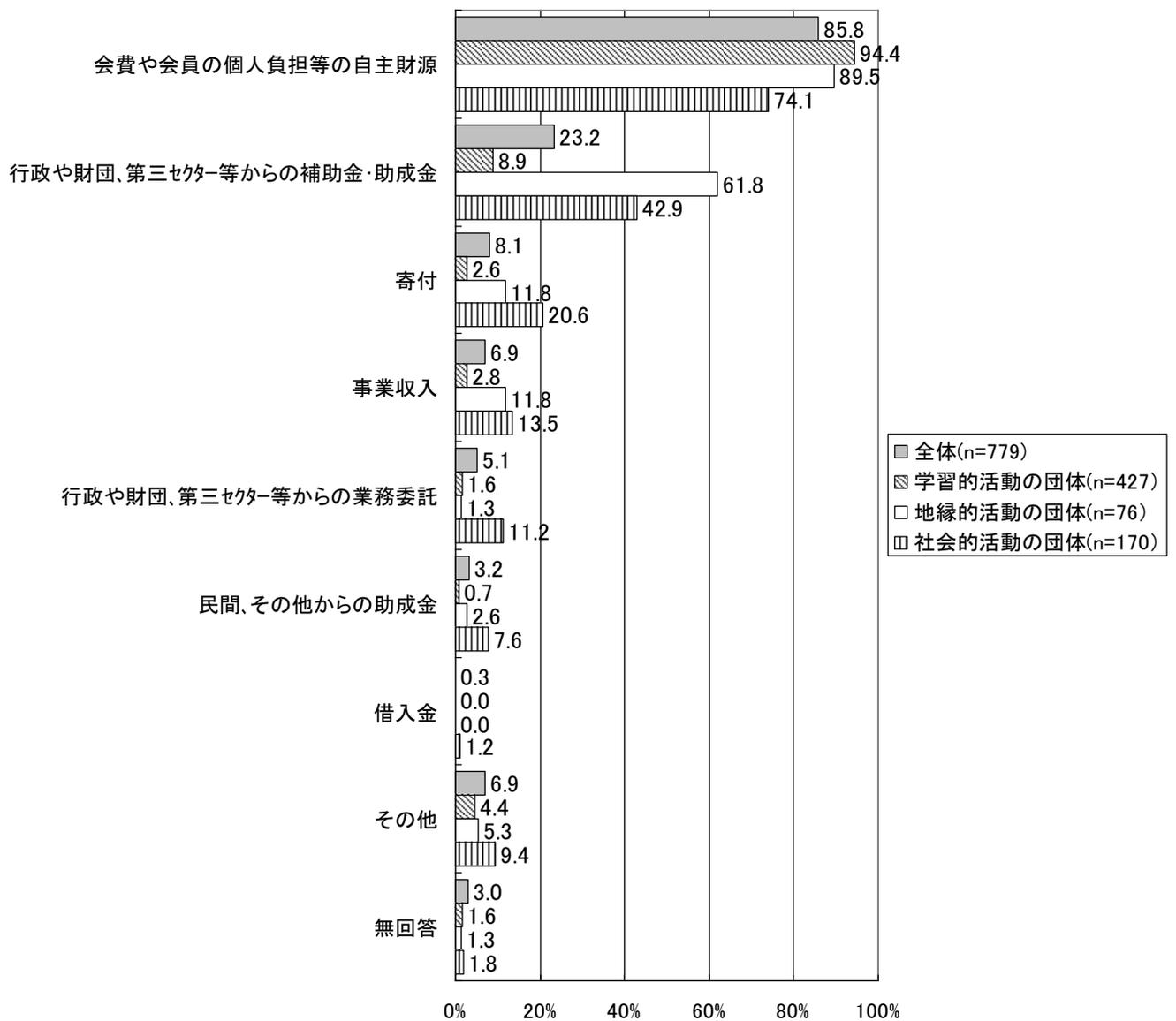
図表 19 活動費の獲得方法（複数回答）



■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「会費や会員の個人負担等の自主財源」、地縁的活動の団体では「行政や財団、第三セクター等からの補助金・助成金」、社会的活動の団体では「行政や財団、第三セクター等からの補助金・助成金」、「寄付」の割合がそれぞれ全体と比較して大きい。また、全体と比較して割合が特に小さい項目としては、学習的活動の団体では「会費や会員の個人負担等の自主財源」以外の項目、地縁的活動の団体では「行政や第三セクター等からの業務委託」、「民間、その他からの助成金」の2項目、社会的活動の団体では「会費や会員の個人負担等の自主財源」となっている。

図表 20 団体種類別 活動費の獲得方法（複数回答）



■設立年代別に見た特徴

「行政や財団、第三セクター等からの補助金・助成金」の割合が、1979年以前に設立された団体では全体と比較して特に大きい一方、2000年以降に設立された団体では小さい。これは、前述したとおり、1979年以前に設立された団体には地縁的活動の団体の割合が大きいためと考えられる。また、「寄付」については1979年以前に設立した団体の次に、2000年以降に設立された団体において割合が大きい。

図表 21 設立年代別 活動費の獲得方法（複数回答）（%）

	会費や会員の個人負担等の自主財源	行政や財団、第三セクター等からの補助金・助成金	寄付	事業収入	行政や財団、第三セクター等からの業務委託	民間、その他からの助成金	借入金	その他	無回答
全体(n=779)	85.8	23.2	8.1	6.9	5.1	3.2	0.3	6.9	3.0
1979年以前 (n=173)	93.1	49.7	15.6	11.0	7.5	4.0	0.6	8.7	0.6
1980年代 (n=94)	86.2	24.5	6.4	8.5	4.3	2.1	0.0	5.3	1.1
1990年代 (n=133)	82.0	16.5	3.0	5.3	6.0	2.3	0.0	10.5	2.3
2000年以降 (n=241)	83.8	7.9	7.1	5.4	5.8	2.9	0.0	4.6	3.3

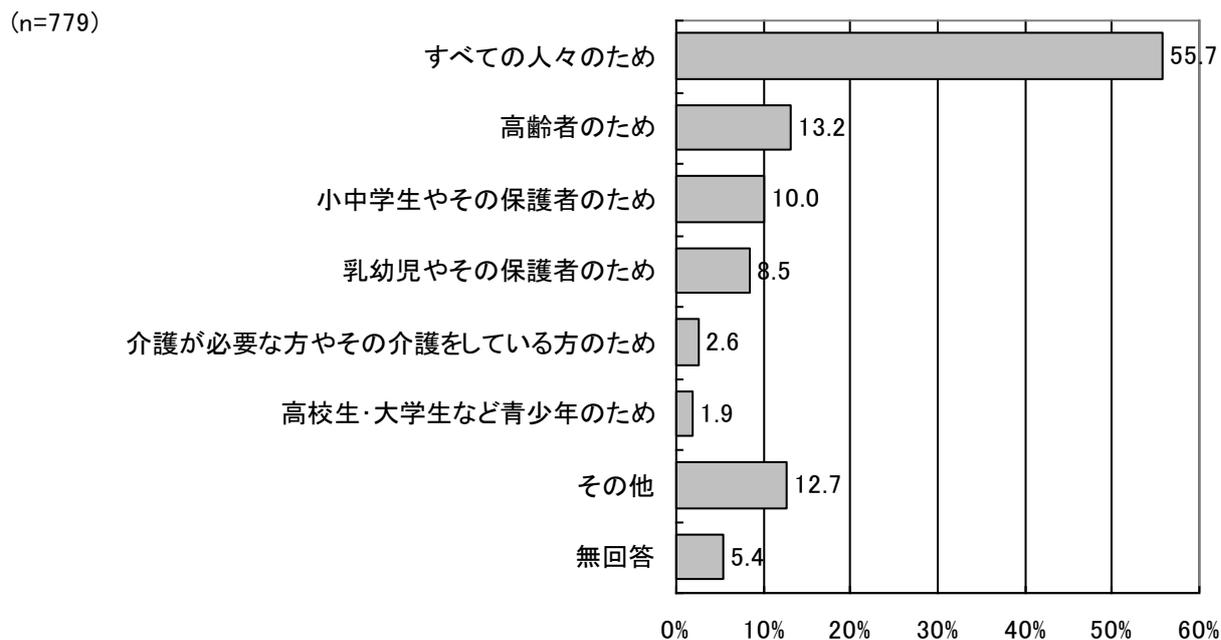
 = 全体より大きい数値

(8) 団体の活動の対象者

F7 あなたの団体の活動の対象者（サポートやサービスを受ける対象者、自主サークル・自助団体であればその構成員）はどのような方ですか。

「すべての人々のため」（55.7%）が最も多く、次いで高齢者のため（13.2%）、「小中学生やその保護者のため」（10.0%）の順となっている。

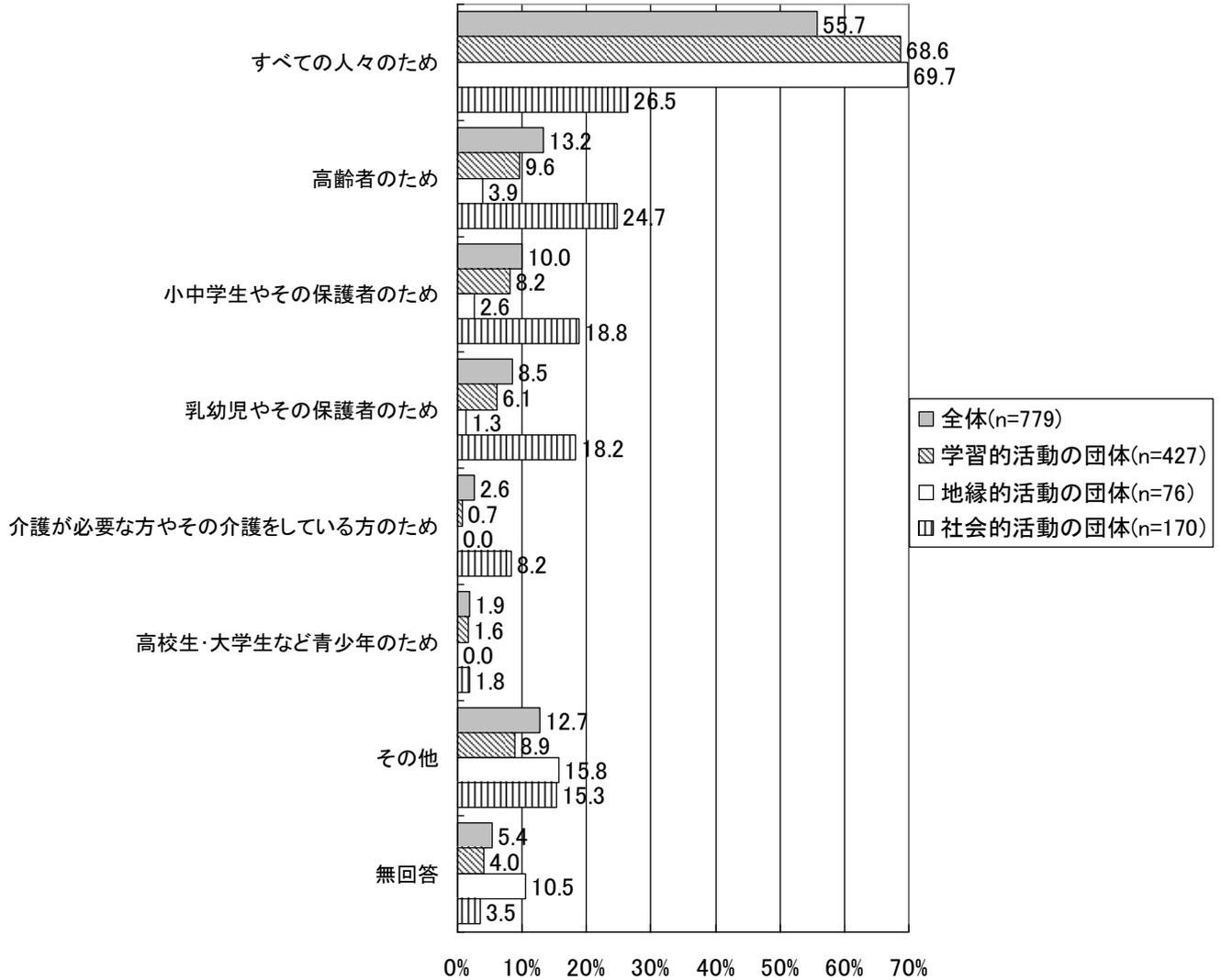
図表 22 団体の活動の対象者（複数回答）



■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体及び地縁的活動の団体では「すべての人々のため」、社会的活動の団体では「高齢者のため」の割合がそれぞれ全体と比較して大きい。また、社会的活動の団体では「すべての人々のため」の割合が全体と比較して小さい。

図表 23 団体種類別 団体の活動の対象者（複数回答）

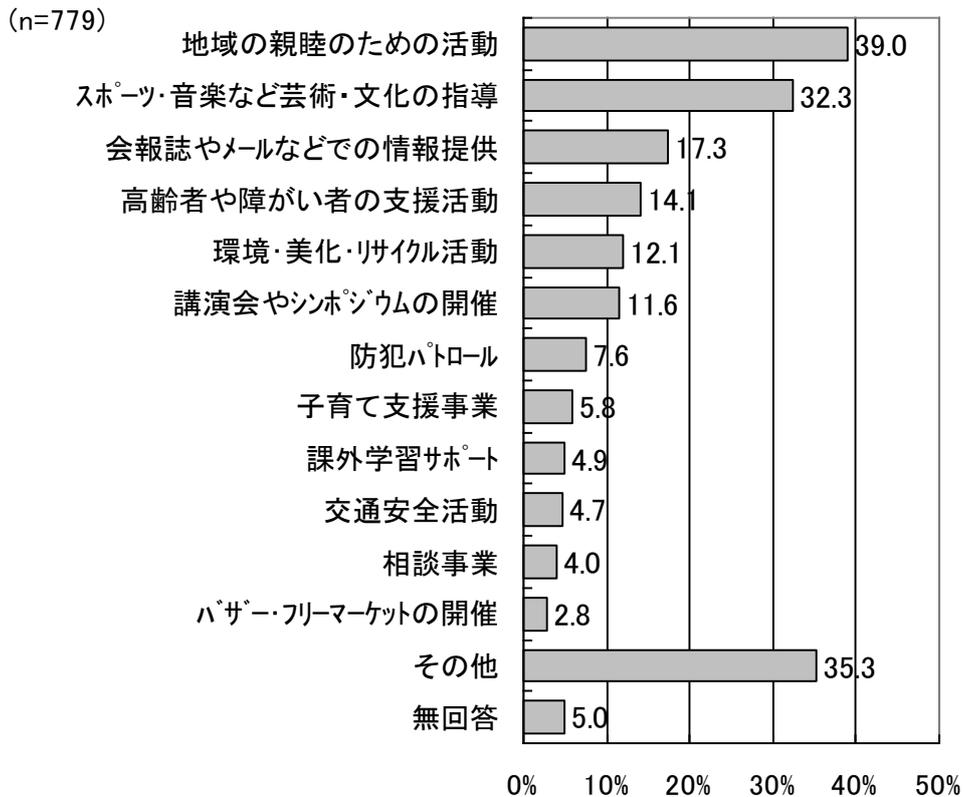


(9) 団体の活動内容

F8 あなたの団体の活動内容について、次の中から最もあてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。

「地域の親睦のための活動」(39.0%)が最も多く、次いで「スポーツ・音楽など芸術・文化の指導」(32.3%)、「会報誌やメールなどでの情報提供」(17.3%)の順となっている。また、「その他」の具体的内容としては、芸術・文化に関する活動、スポーツ・健康づくりに関する活動、趣味・教養に関する活動などが多く見られる。

図表 24 団体の活動内容(複数回答)



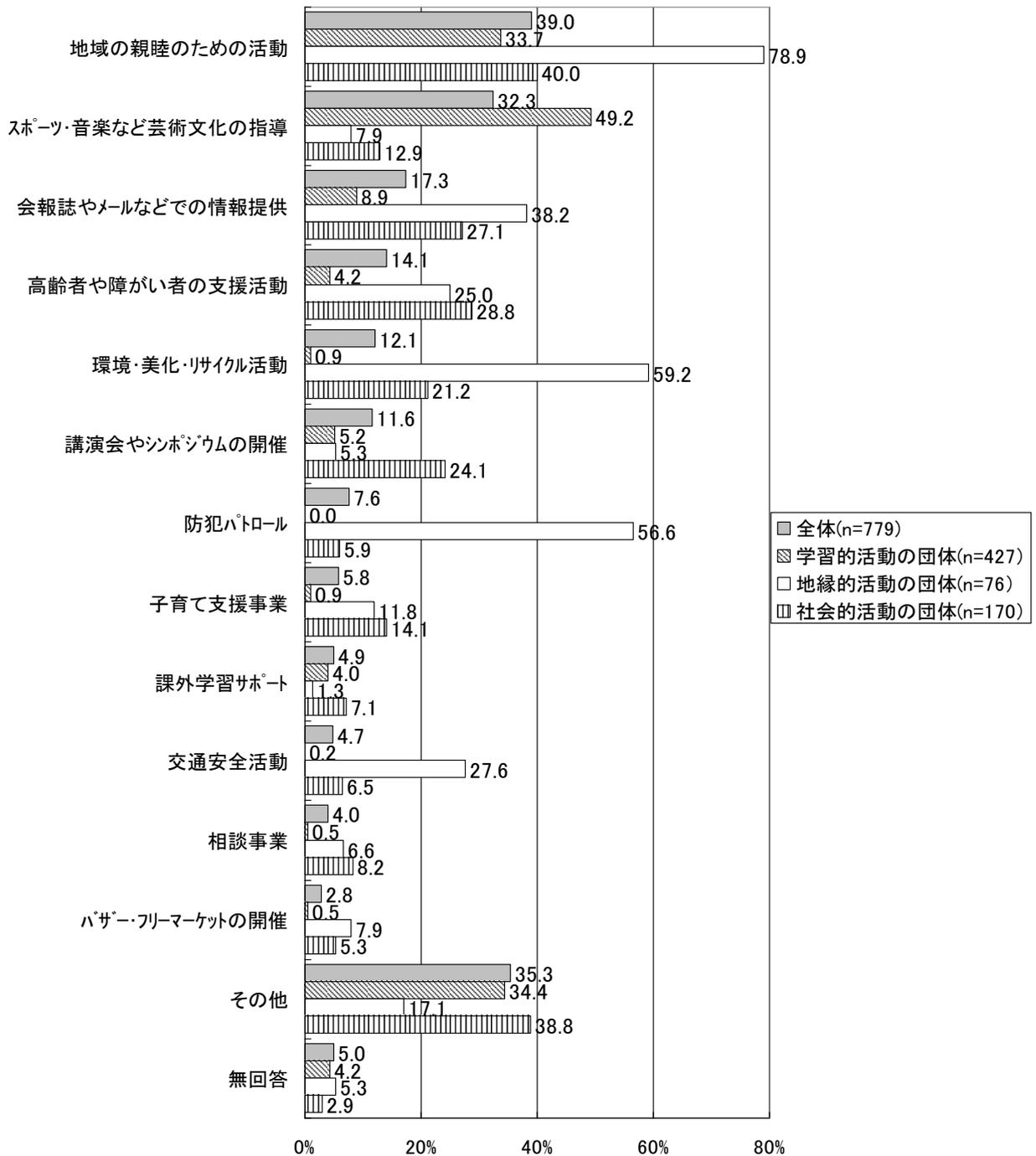
図表 25 団体の活動内容(「その他」の具体的回答内容)

活動内容の概要	類似回答件数
芸術・文化に関する活動	61
スポーツ・健康づくりに関する活動	50
趣味・教養(パソコン、語学、料理、裁縫等)に関する活動	48
高齢者や障がい者の支援に関する活動	25
地域の親睦のための活動	29
子育て支援に関する活動	18
地域の環境整備・美化・緑化に関する活動	11
防災に関する活動	7
情報提供(HP運用等)に関する活動	6
相談・アドバイス等に関する活動	5
防犯・交通安全に関する活動	4
その他	15

■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「スポーツ・音楽など芸術・文化の指導」、地縁的活動の団体では「地域の親睦のための活動」、「環境・美化・リサイクル活動」、「防犯パトロール」、「会報誌やメールなどでの情報提供」、「交通安全活動」、「高齢者や障がい者の支援活動」、社会的活動の団体では「地域の親睦のための活動」、「高齢者や障がい者の支援活動」、「会報誌やメールなどでの情報提供」、「講演会やシンポジウムの開催」の割合が大きい。

図表 26 団体種類別 団体の活動内容（複数回答）



2 団体の活動状況

(1) 活動状況の変化

問1 10年前と比較して、あなたの団体の活動に変化はありましたか。それぞれ次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。活動年数が10年未満の団体は、設立当初と比較してお答えください。

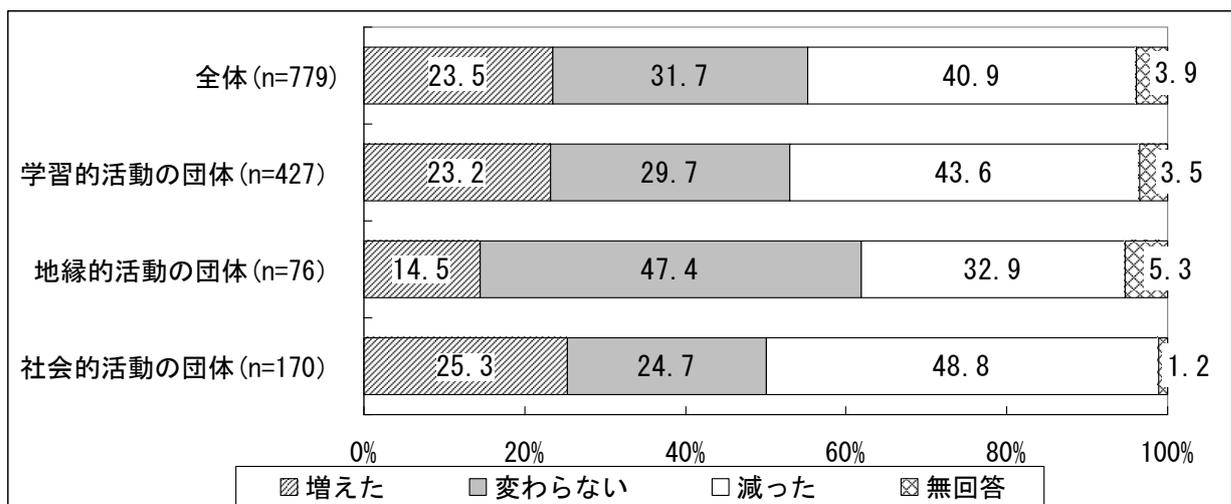
① メンバーの人数

「減った」(40.9%)が最も多く、次いで「変わらない」(31.7%)、「増えた」(23.5%)の順となっている。前回調査と比較すると、概ね同様の傾向であるが「減った」の割合が増加し、「増えた」、「変わらない」の割合が減少している。

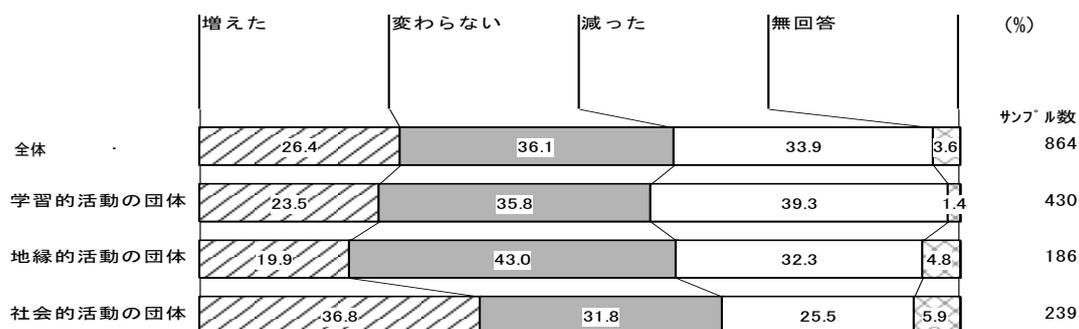
■ 団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では全体と比較して「減った」の割合がやや大きい。地縁的活動の団体では全体と比較して「増えた」、「減った」の割合がともに小さく「変わらない」の割合が大きい。一方、社会的活動の団体では全体と比較して「増えた」、「減った」の割合がともに大きく「変わらない」の割合が小さい。

図表 27 メンバーの変化（単一回答）



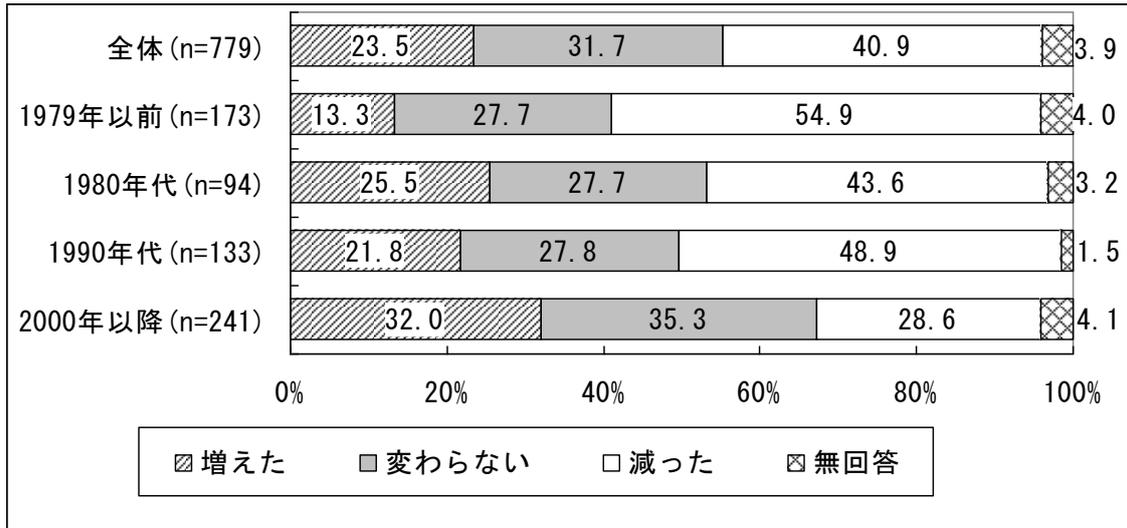
図表 28 メンバーの変化（単一回答）＜前回調査結果（平成13年3月）＞



■設立年別に見た特徴

1979年以前に設立された団体では全体と比較して「減った」の割合が特に大きく、1980年代、1990年代も同様であるが、1980年代に設立された団体は「増えた」の割合も全体より大きい。一方、2000年以降に設立された団体は、全体と比較して、「増えた」の割合が大きく「減った」の割合が小さい。

図表 29 設立年別 メンバーの変化（単一回答）



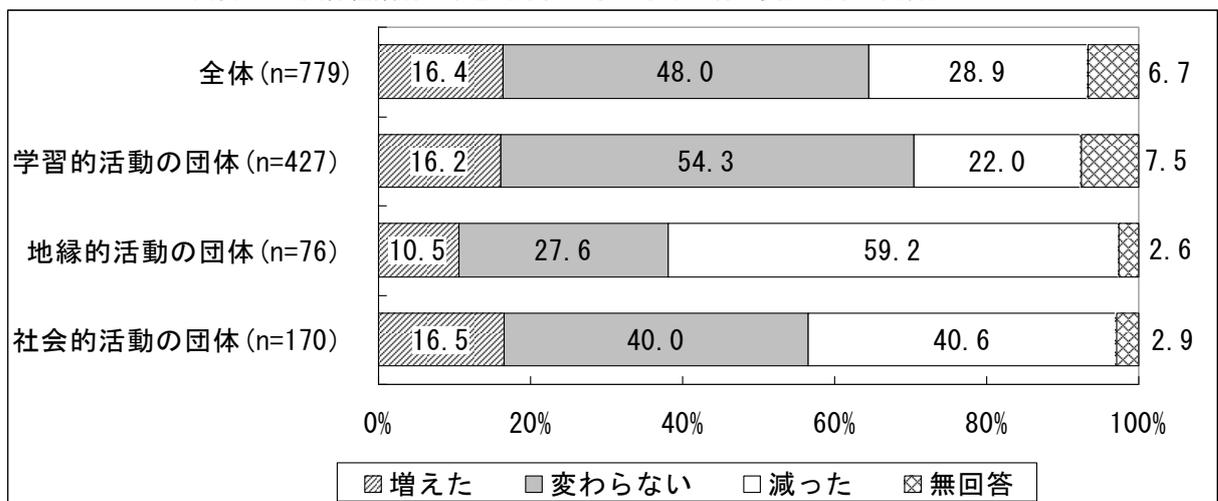
② 活動の中心的な担い手となる人材

「変わらない」(48.0%)が最も多く、次いで「減った」(28.9%)、「増えた」(16.4%)の順となっている。

■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「変わらない」、地縁的活動の団体及び社会的活動の団体では「減った」が、それぞれ全体と比較して割合が大きく、特に地縁的活動の団体において顕著である。

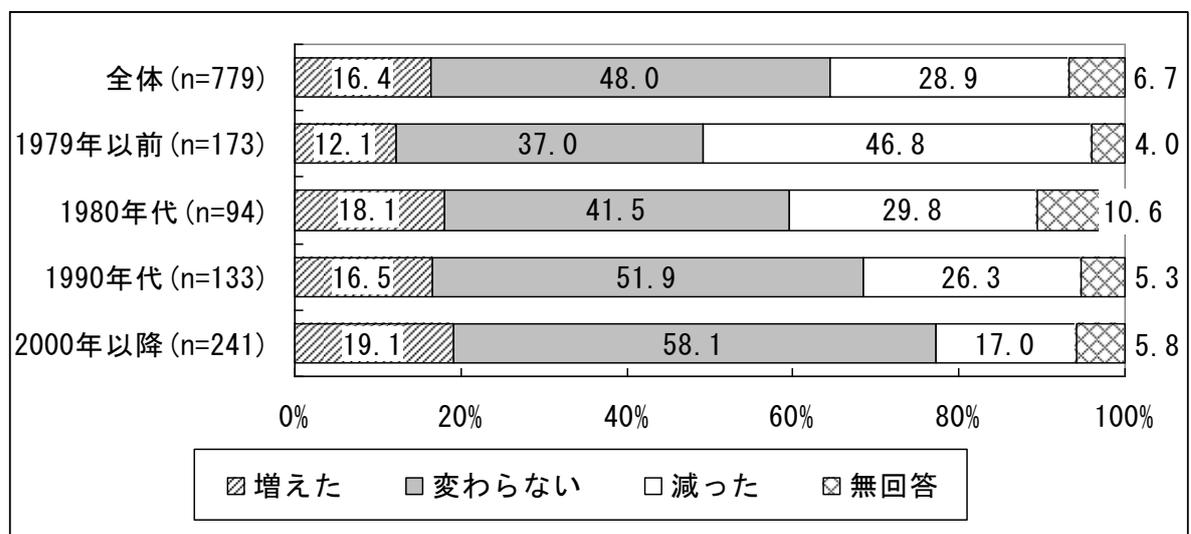
図表 30 団体種類別 中心的な担い手となる人材の変化(単一回答)



■設立年別に見た特徴

設立年に関わらず「増えた」の割合は大きな差はないが、「減った」の割合は活動期間が長いほど大きく、1979年以前の団体では4割を超える団体が「減った」と回答している。

図表 31 設立年別 中心的な担い手となる人材の変化(単一回答)



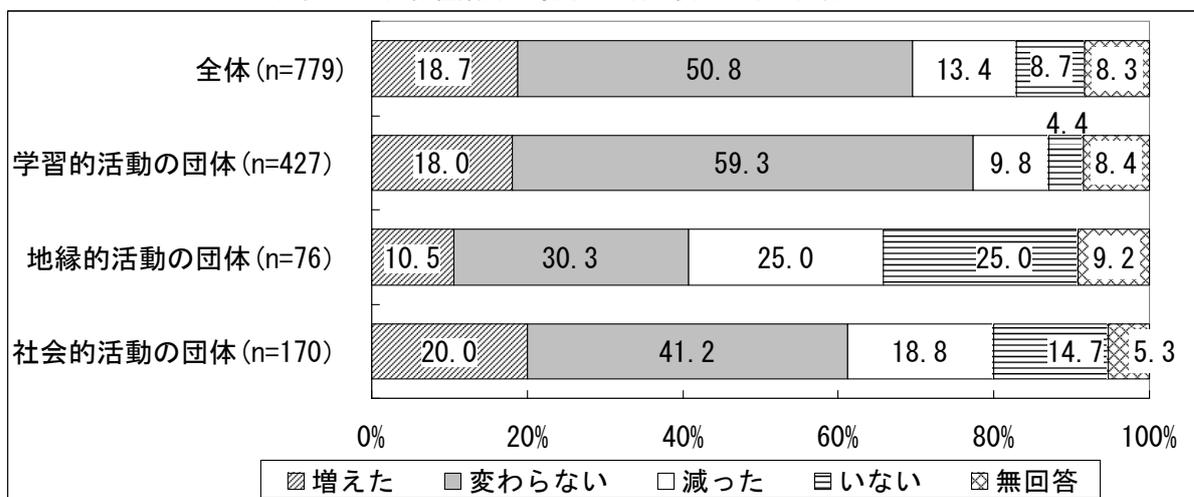
③ 活動分野の専門的知識や技術を有する人材

「変わらない」(50.8%)が最も多く、次いで「増えた」(18.7%)、「減った」(13.4%)、
いない(8.7%)の順となっている。

■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「変わらない」、地縁的活動の団体では「減った」、「いない」
が全体と比較して割合が大きい。社会的活動の団体では「減った」、「いない」が全体と
比較して割合が大きい、「増えた」もやや大きくなっている。

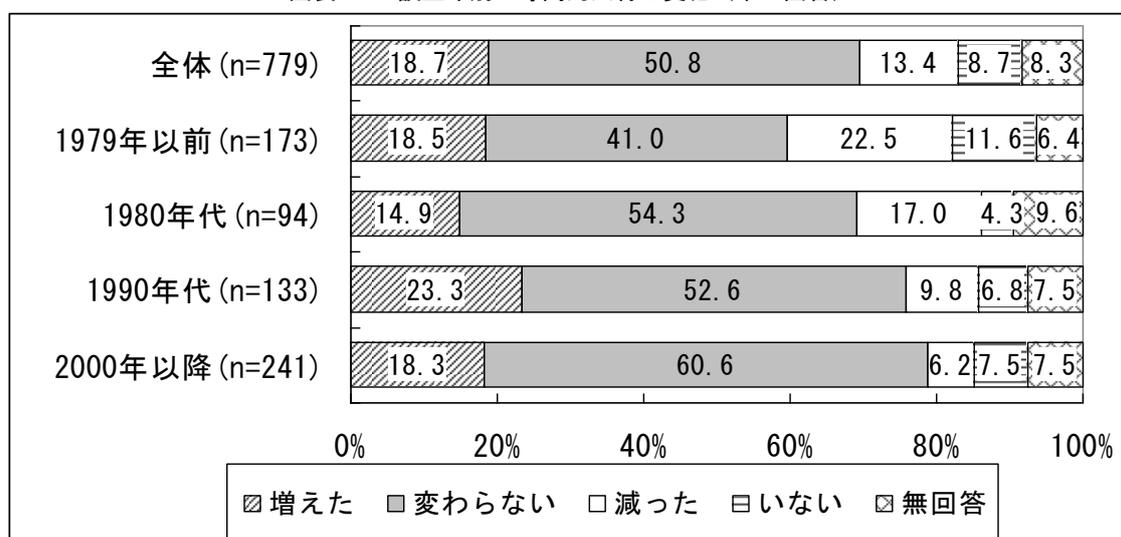
図表 32 団体種類別 専門的人材の変化(単一回答)



■設立年別に見た特徴

活動期間が長い団体ほど「減った」の割合が大きい。また、「いない」の割合は全体と
比較して1979年以前の団体が大きくなっている。

図表 33 設立年別 専門的人材の変化(単一回答)



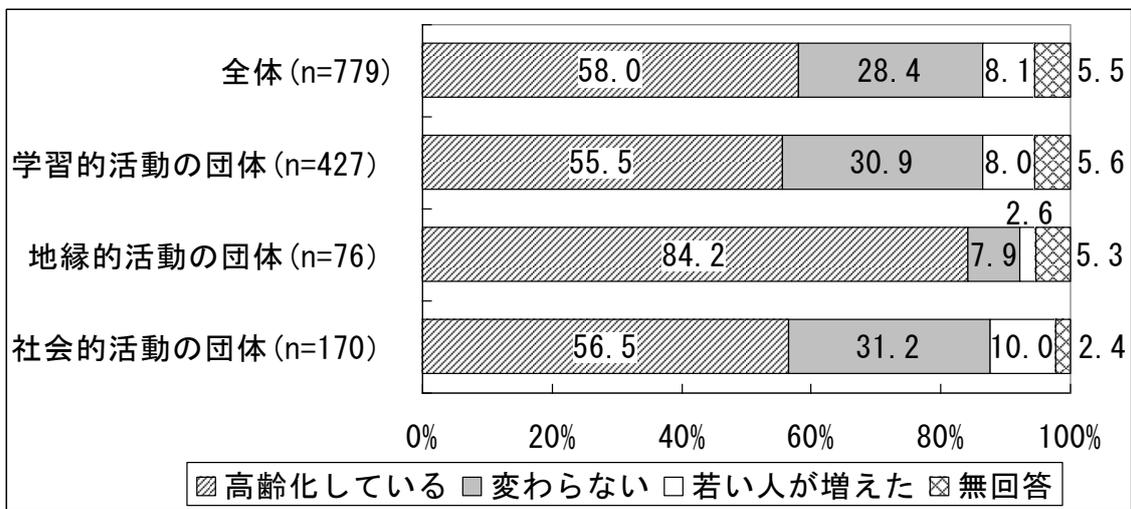
④ メンバーの年齢層

「高齢化している」(58.0%)が最も多く、次いで「変わらない」(28.4%)、「若い人が増えた」(8.1%)の順となっている。

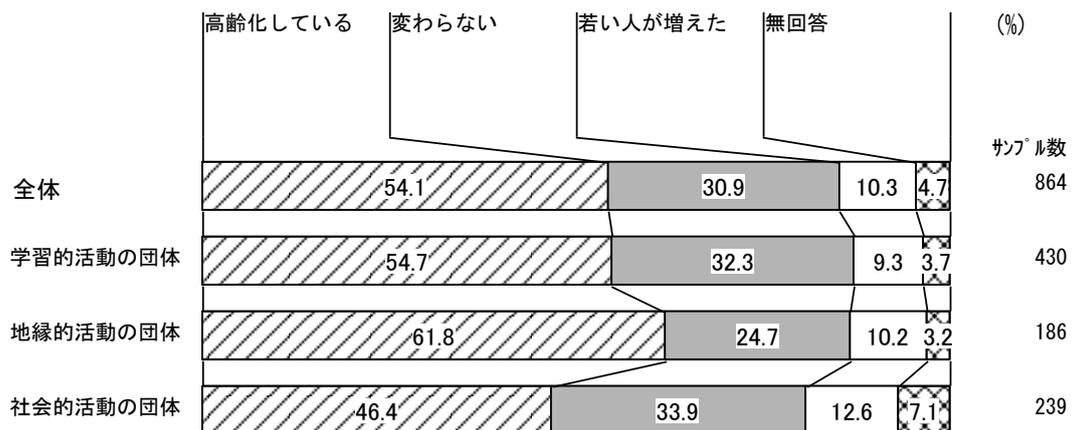
■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体、社会的活動の団体は概ね全体と同様の傾向であるが、地縁的活動の団体では全体と比較して「高齢化している」の割合が大きい。また、社会的活動の団体において「若い人が増えた」が全体と比較してやや割合が大きい。

図表 34 団体種類別 年齢層の変化(単一回答)



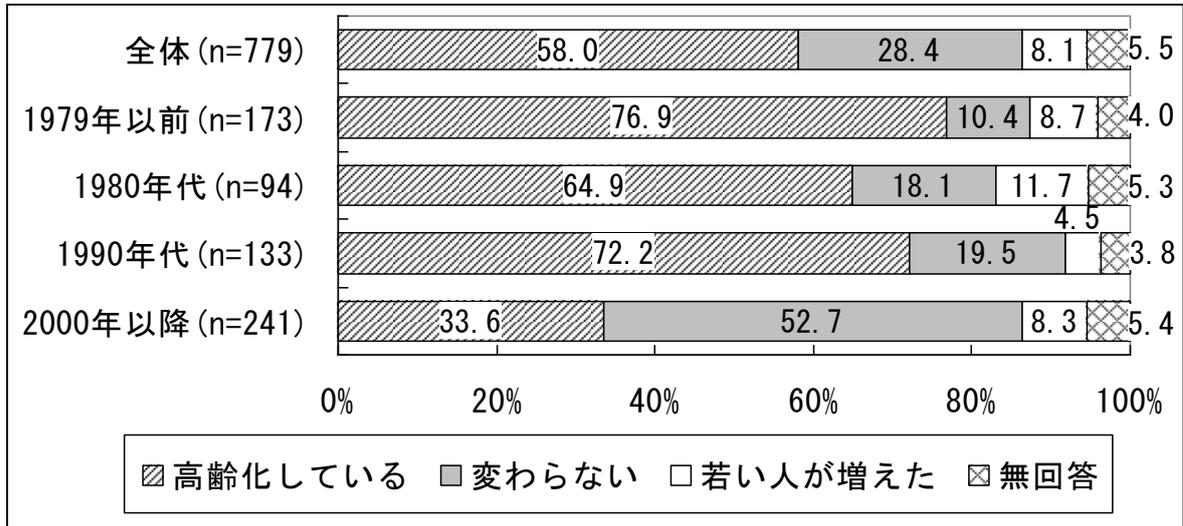
図表 35 団体種類別 年齢層の変化(単一回答) <前回調査結果(平成13年3月)>



■設立年別に見た特徴

2000年以降に設立された団体は「変わらない」が全体と比較して特に多いが、他の年代に設立された団体は「高齢化している」の割合が全体と比較して大きく、1979年以前の団体で特に大きくなっている。

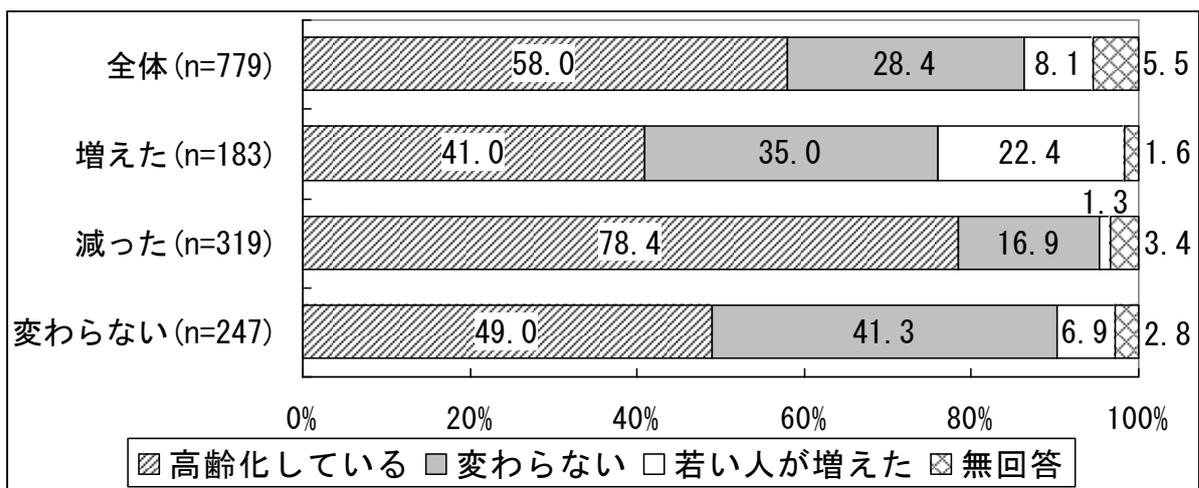
図表 36 設立年別 年齢層の変化（単一回答）



■会員数の変化別に見た特徴

全体と比較して、過去10年で人数が増えた団体では「若い人が増えた」の割合が特に大きく、「高齢化している」の割合は小さい。一方減った団体では「高齢化している」の割合が全体と比較して特に大きく、全体の8割弱となっている。

図表 37 会員数の変化別 年齢層の変化（単一回答）



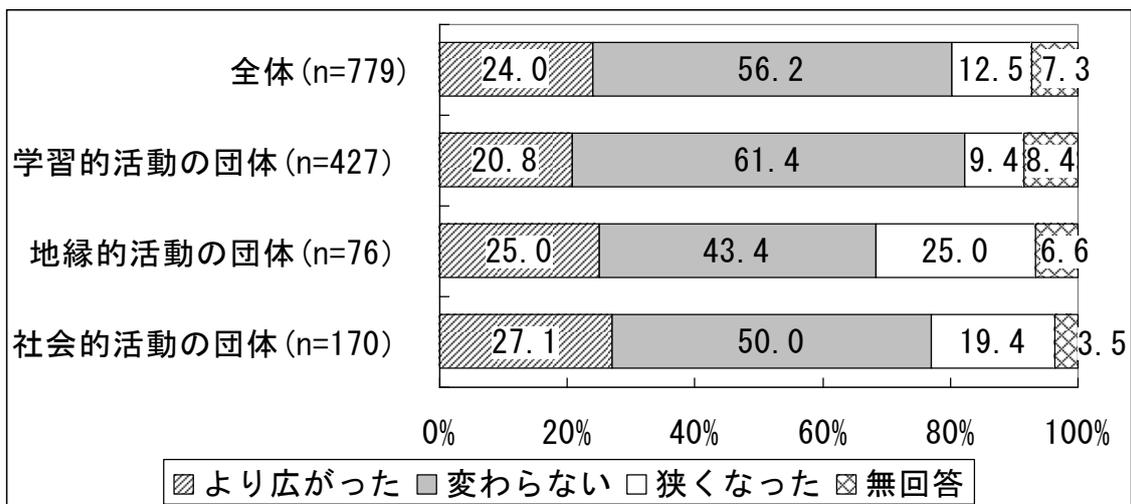
⑤ 活動の分野

「変わらない」(56.2%)が最も多く、次いで「より広がった」(24.0%)、「狭くなった」(12.5%)の順となっている。

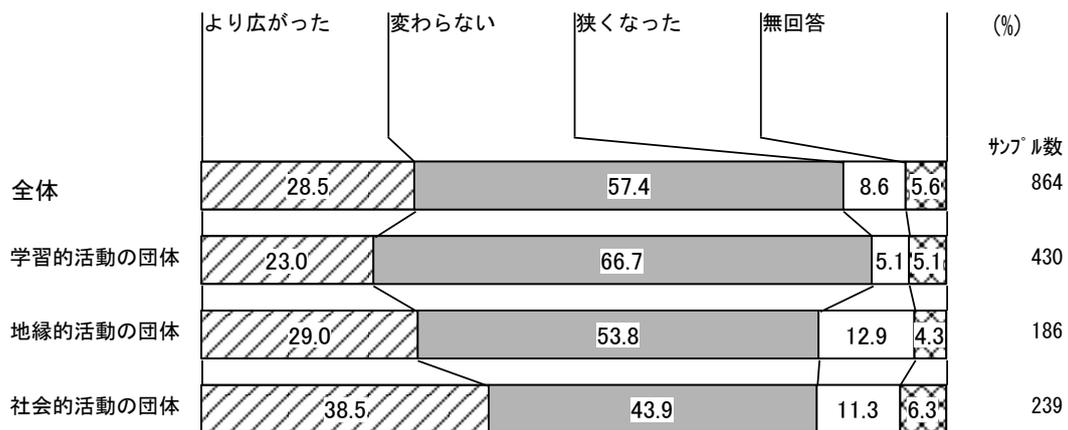
■ 団体種類別に見た特徴

社会的活動の団体は全体と比較して「より広がった」の割合が大きい。一方、地縁的活動の団体は「狭くなった」の割合が全体と比較して大きくなっている。

図表 38 団体種類別 活動分野の変化 (単一回答)



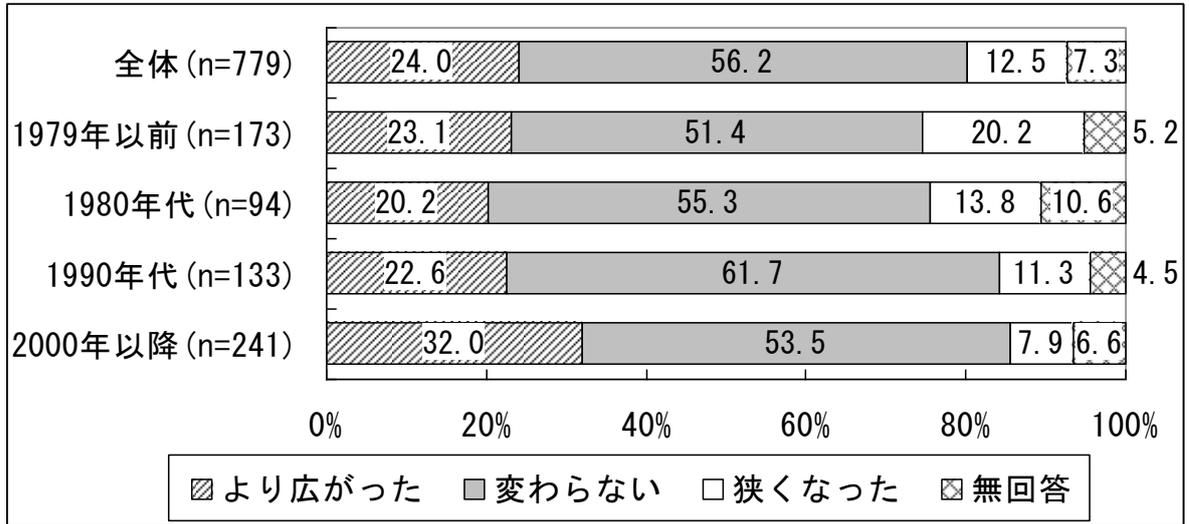
図表 39 団体種類別 活動分野の変化 (単一回答) <前回調査結果 (平成13年3月)>



■設立年別に見た特徴

全体と比較して、2000年以降に設立された団体では「より広がった」の割合が大きく、一方1979年以前に設立された団体では「狭くなった」の割合が大きくなっている。

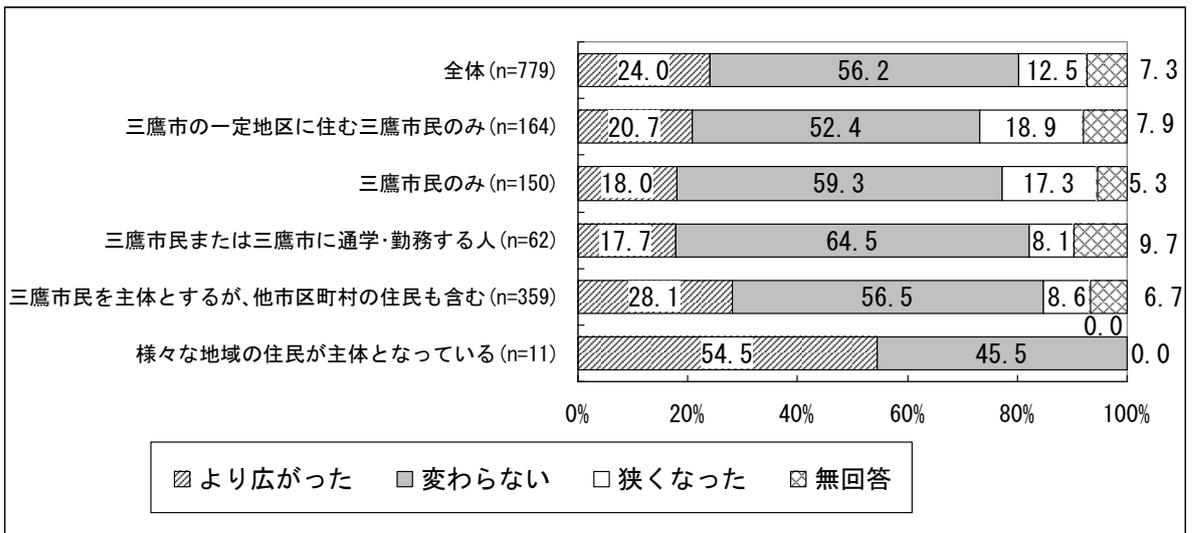
図表 40 設立年別 活動分野の変化（単一回答）



■構成メンバー別に見た特徴

サンプル数が少ないため参考にとどまるが、様々な地域の住民が主体となっている団体は過半数が「より広がった」としている。また、三鷹市民を主体とするが他市区町村の住民も含む団体も全体と比較して「より広がった」の割合がやや大きく、他地域の人々と一緒に活動する団体の方が活動の分野が広がりやすい傾向にある。

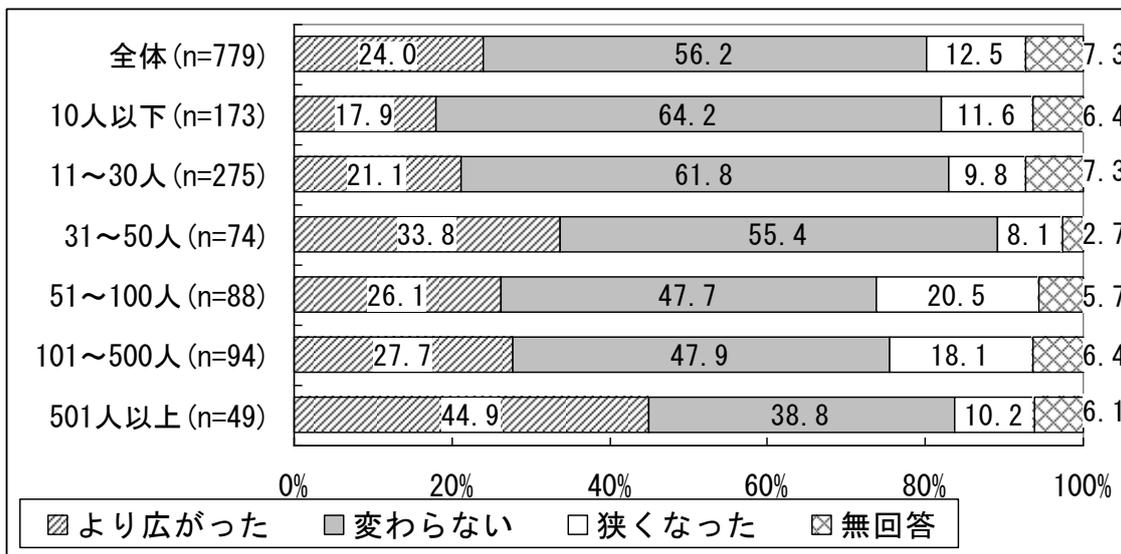
図表 41 構成メンバー別 活動分野の変化（単一回答）



■会員数規模別に見た特徴

概ね会員数規模の大きな団体の方が「より広がった」の割合が大きい傾向があるが、31～50人の団体については、501人以上の団体に次いで「より広がった」の割合が大きくなっている。

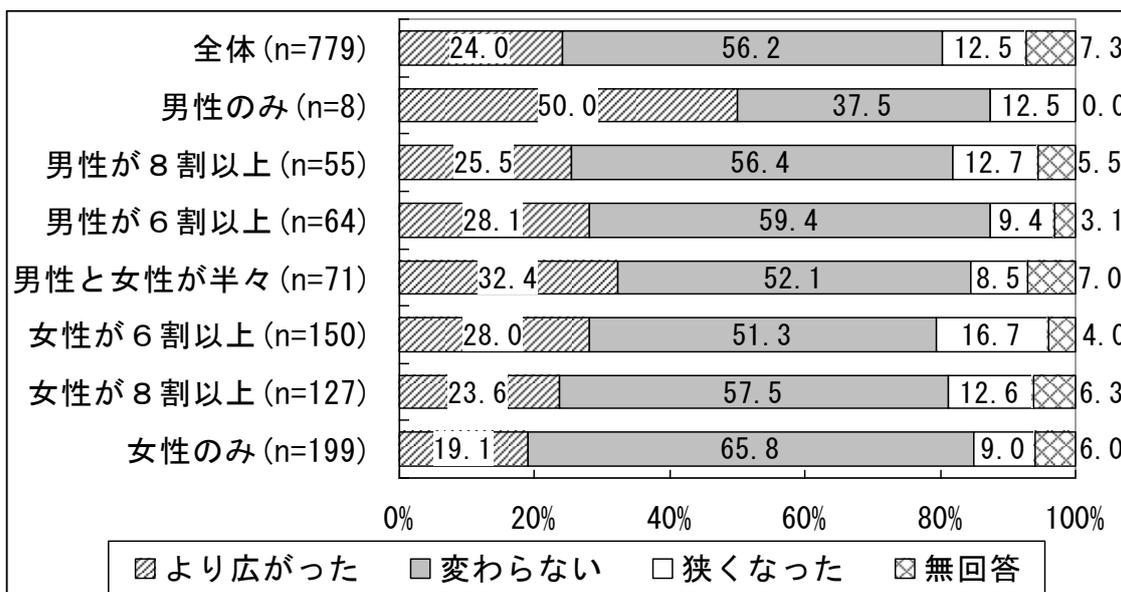
図表 42 人数規模別 活動分野の変化（単一回答）



■会員の男女比別に見た特徴

男性のみの団体はサンプル数が少ないため参考にとどまるが、「より広がった」の割合が最も大きく、5割を占めている。また、男性と女性が半々の団体、男性、女性がそれぞれ6割の団体がこれに次いでおり、男女比のバランスが取れている団体ほど「より広がった」の割合が大きくなっている。

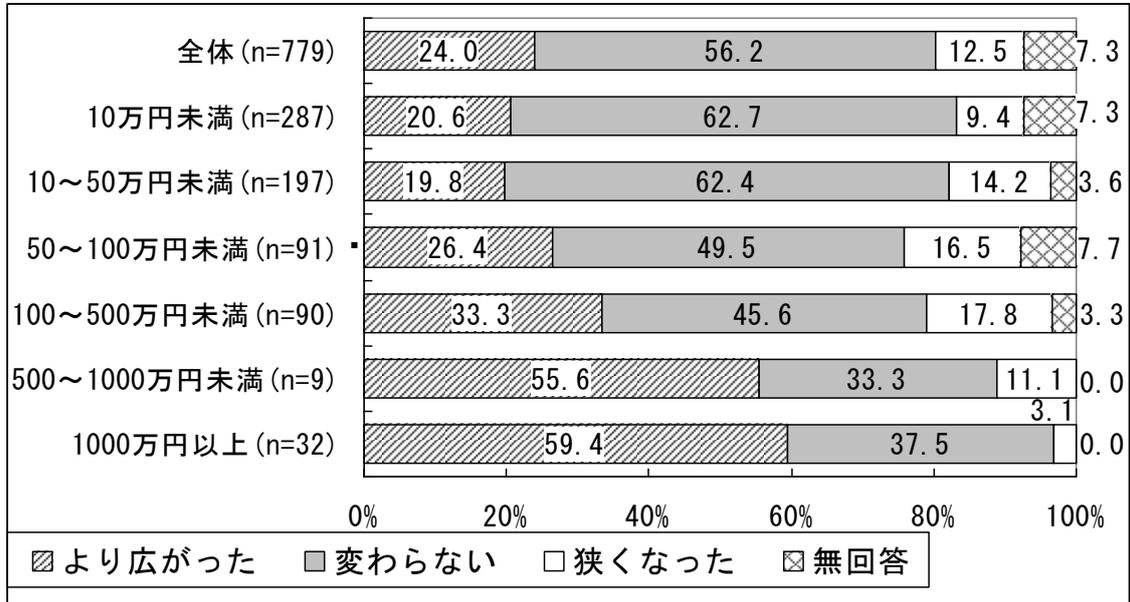
図表 43 会員の男女比別 活動分野の変化（単一回答）



■年間収入額別に見た特徴

概ね年間収入額が多い団体ほど「より広がった」の割合が大きくなっている。

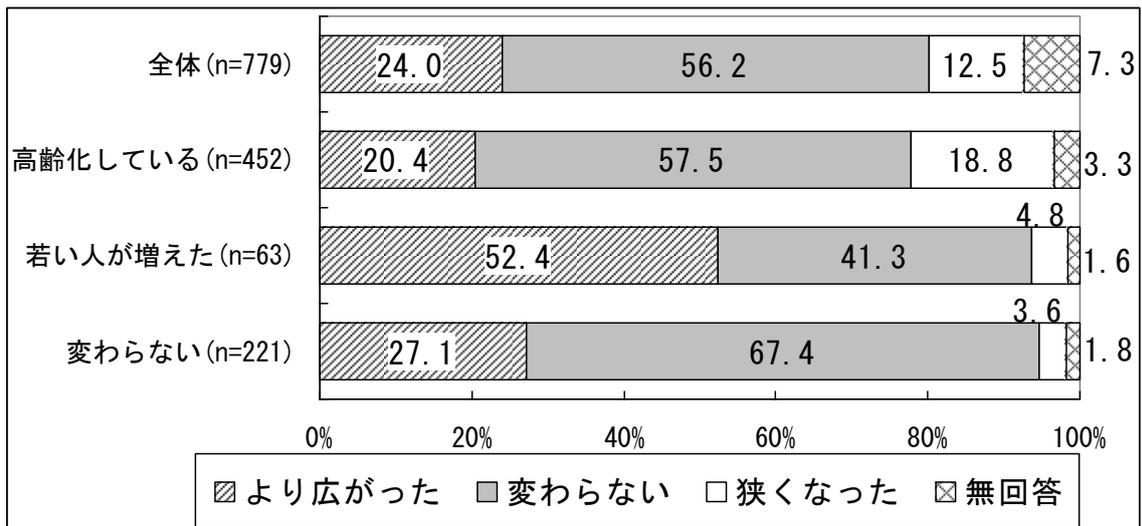
図表 44 年間収入規模別 活動分野の変化（単一回答）



■年齢層の変化別に見た特徴

若い人が増えた団体では「より広がった」の割合が5割を超えている。一方高齢化している団体では全体を下回っている。

図表 45 年齢層の変化別 活動分野の変化（単一回答）



⑥ その他の変化（自由記入）

その他の活動の変化に関する自由記入を類似意見ごとに整理すると下表のとおりであり、会員の高齢化や若年層の会員確保難に起因する活動への影響が最も多く、次いで、メンバー数の伸び悩みや減少に起因する活動への影響など、活動にマイナスとなる変化が多い。一方、これらに次いで、団体としての活動の規模や量、活動領域の拡大や団体や会員個人としての活動の質・レベルの向上などプラスの変化も見られた。さらに社会環境の変化がニーズの変化や、活動に影響があったとする意見も見られた。

図表 46 その他の変化（自由記入）（n=779）

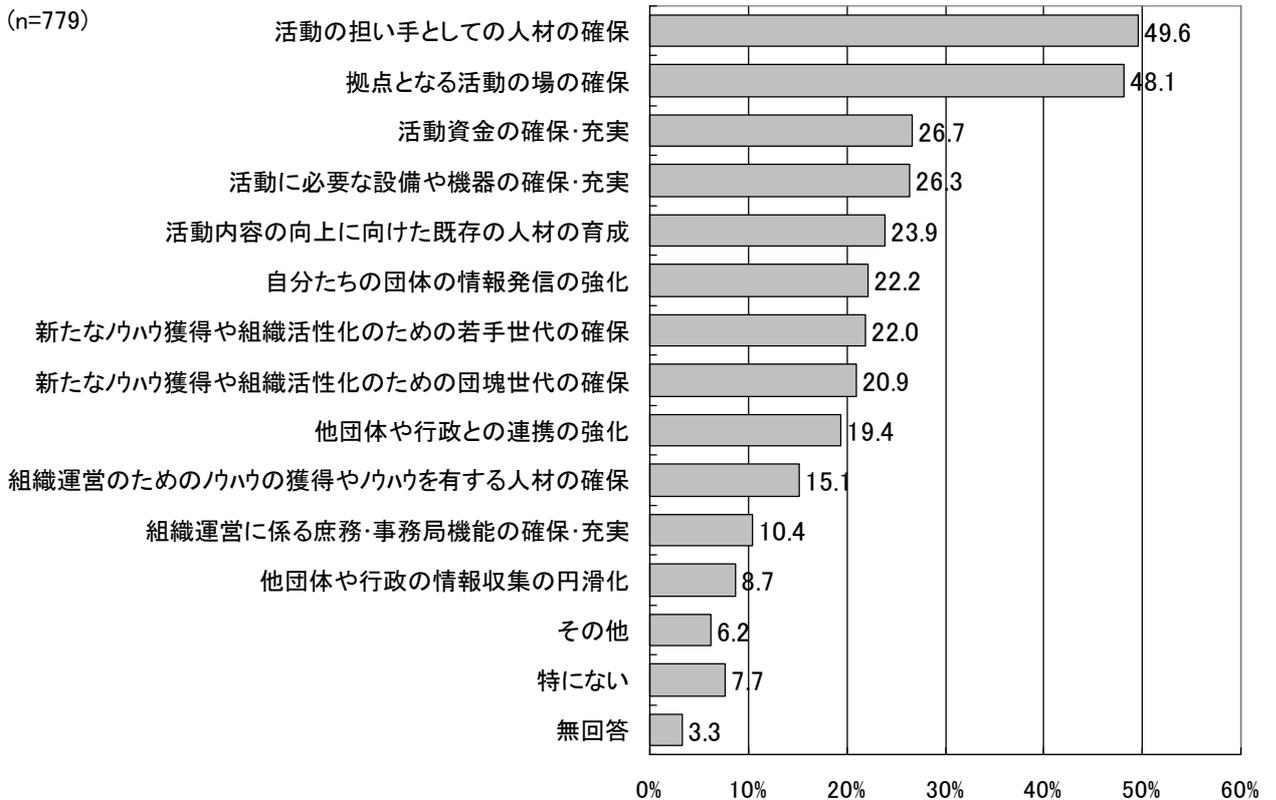
その他の変化の概要	類似回答件数
高齢化や若年層の不足とそれによる活動への影響	51
メンバー数の伸び悩みや減少とそれによる活動への影響	21
団体としての活動の規模、量や活動領域の拡大	19
社会環境の変化（少子化、高齢化、コミュニティ希薄化、支援制度の変更など）によるニーズの変化や活動への影響	17
団体や会員個人としての活動の質・レベルの向上など	13
高齢化以外のメンバー構成の変化とそれによる活動への影響	11
活動の成果の発表や活動の場の拡大	10
子育てや介護、仕事などが忙しくなった人が増えたことによるメンバーの減少や活動の停滞	10
施設の確保困難による活動の縮小	8
その他の理由による活動の縮小	3
組織形態の変化（法人格取得など）	2
上記以外の団体活動の変化	15
団体の活動の変化以外に関する記述	18

(2) 団体活動を継続、発展させていくために必要なこと

問2 あなたの団体が活動を継続、または発展させていくために今必要としていることは何ですか。次の中からすべてお答えください。

「活動の担い手としての人材の確保」(49.6%)が最も多く、次いで「拠点となる活動の場の確保」(48.1%)、「活動資金の確保・充実」(26.7%)、「活動に必要な設備や機器の確保・充実」(26.3%)の順となっている。

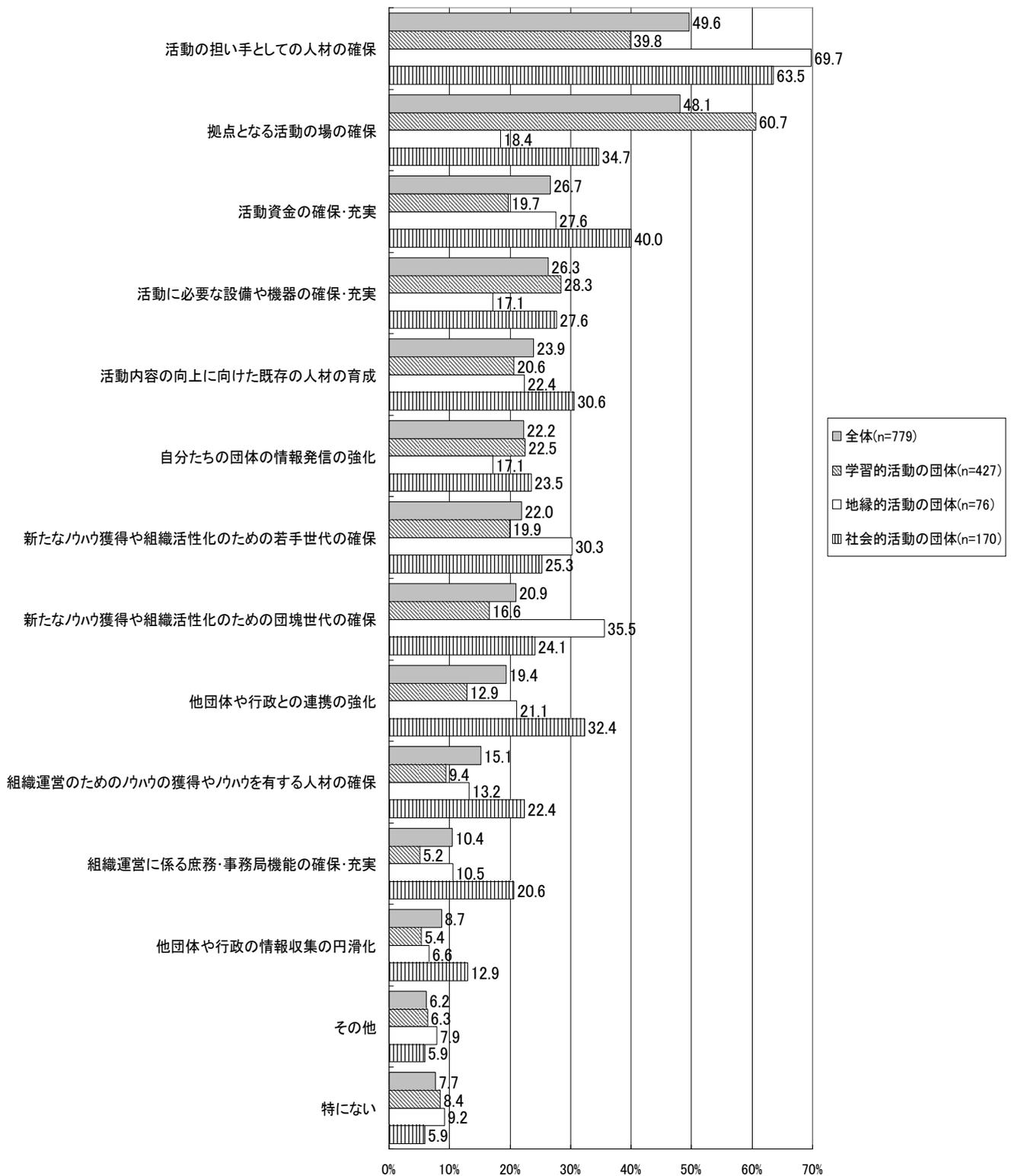
図表 47 団体活動を継続、発展させていくために必要なこと（複数回答）



■団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「拠点となる活動の場の確保」、地縁的活動の団体は「活動の担い手としての人材の確保」、「新たなノウハウ獲得や組織活性化のための団塊世代の確保」、社会的活動の団体では「活動の担い手としての人材の確保」、「活動資金の確保・充実」、「他団体や行政との連携の強化」、「組織運営に係る庶務・事務局機能の確保・充実」の割合が、それぞれ全体と比較して大きくなっている。

図表 48 団体種類別 団体活動を継続、発展させていくために必要なこと（複数回答）



■会員数規模別に見た特徴

30人以下の団体では概ね全体と同様の傾向を示している。

31～50人の団体では特に「組織運営のためのノウハウの獲得やノウハウを有する人材の確保」が全体と比較して大きい。

51～100人の団体では特に「組織運営に係る庶務・事務局機能の確保・充実」、「組織運営のためのノウハウの獲得やノウハウを有する人材の確保」が全体と比較して大きい。

101～500人の団体では特に「活動資金の確保・充実」、「活動内容の向上に向けた既存の人材の育成」、「自分たちの団体の情報発信の強化」が全体と比較して大きい。

501人の団体では特に「活動の担い手としての人材の確保」、「他団体や行政との連携の強化」、「新たなノウハウ獲得や組織活性化のための若手世代の確保」、「新たなノウハウ獲得や組織活性化のための団塊世代の確保」、「他団体や行政の情報収集の円滑化」が全体と比較して大きい。

図表 49 会員数規模別 団体活動を継続、発展させていくために必要なこと（複数回答）

	活動の担い手としての人材の確保	拠点となる活動の場の確保	活動資金の確保・充実	活動に必要な設備や機器の確保・充実	活動内容の向上に向けた既存の人材の育成	自分たちの団体の情報発信の強化	新たなノウハウ獲得や組織活性化のための若手世代の確保
全体(n=779)	49.6	48.1	26.7	26.3	23.9	22.2	22.0
10人以下(n=173)	27.7	52.0	17.3	23.1	13.3	16.8	11.6
11～30人(n=275)	45.8	55.3	20.4	27.3	22.9	22.9	21.5
31～50人(n=74)	55.4	47.3	32.4	25.7	29.7	24.3	23.0
51～100人(n=88)	65.9	35.2	33.0	26.1	30.7	25.0	27.3
101～500人(n=94)	66.0	42.6	45.7	28.7	31.9	28.7	29.8
501人以上(n=49)	81.6	38.8	42.9	34.7	30.6	24.5	38.8

	新たなノウハウ獲得や組織活性化のための団塊世代の確保	他団体や行政との連携の強化	組織運営のためのノウハウの獲得やノウハウを有する人材の確保	組織運営に係る庶務・事務局機能の確保・充実	他団体や行政の情報収集の円滑化	その他	特にない
全体(n=779)	20.9	19.4	15.1	10.4	8.7	6.2	7.7
10人以下(n=173)	11.0	9.8	7.5	3.5	3.5	8.7	13.9
11～30人(n=275)	19.3	13.1	10.2	4.7	5.5	5.1	7.6
31～50人(n=74)	21.6	20.3	24.3	12.2	6.8	6.8	2.7
51～100人(n=88)	30.7	33.0	26.1	23.9	18.2	9.1	5.7
101～500人(n=94)	28.7	31.9	21.3	20.2	14.9	3.2	6.4
501人以上(n=49)	36.7	36.7	20.4	18.4	18.4	6.1	0.0

 = 全体より大きい数値

(3) 他団体や自治体との協力事業の実績と意向

① 実績と意向

問3 あなたの団体では、日頃の活動を活かして他の団体や自治体などと協力した事業の実施や事業の受託、ボランティア活動などの実績や、今後取り組む意向はありますか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

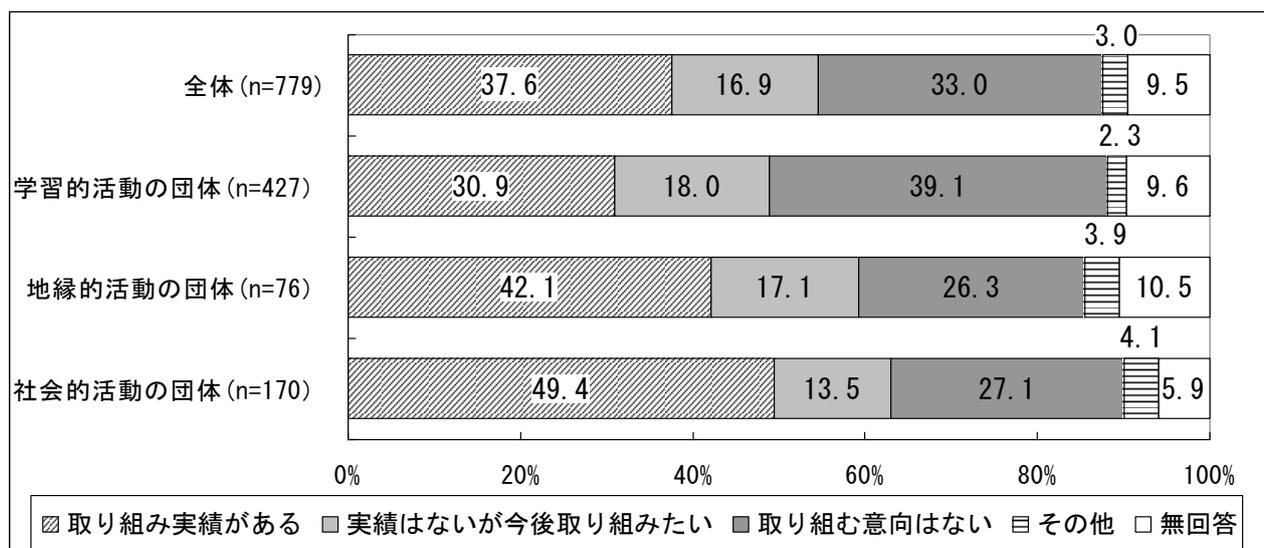
「取り組み実績がある」(37.6%)が最も多く、次いで「取り組む意向はない」(33.0%)、「実績はないが今後取り組みたい」(16.9%)の順となっている。

選択肢が異なるため、実績の有無だけの比較となるが、前回調査結果と比較すると、他団体や自治体との協力事業の実績のある団体の割合はやや減少している。

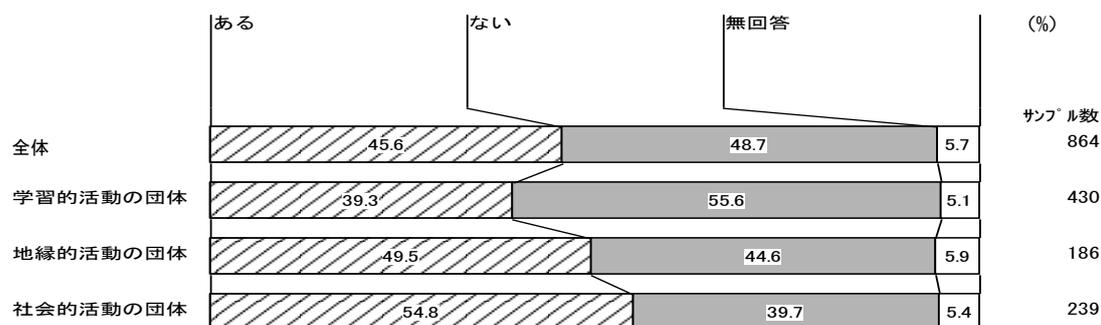
■ 団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では「取り組む意向はない」の割合が全体と比較して大きい。地縁的活動の団体、社会的活動の団体は「取り組み実績がある」の割合が大きく、特に社会的活動の団体の割合が大きくなっている。

図表 50 団体種類別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



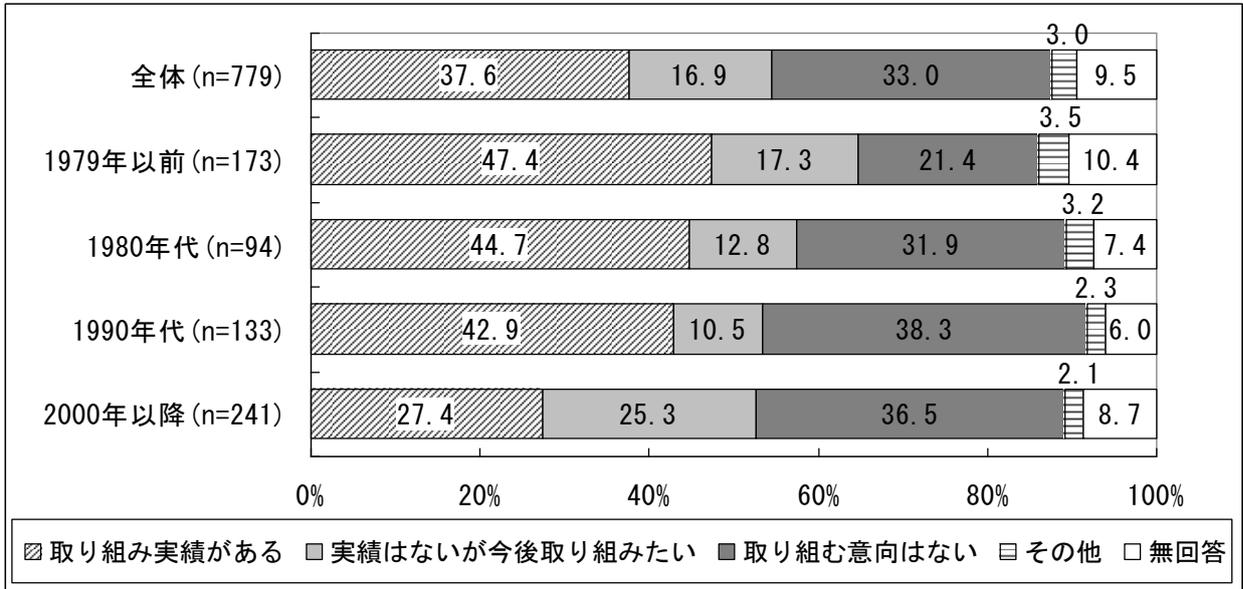
図表 51 団体種類別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）＜前回調査（平成13年3月）＞



■設立年別に見た特徴

活動期間が長くなるほど「取り組み実績がある」の割合が大きくなる傾向にあり、特に2000年以降に設立された団体ではその割合が小さいが、「実績はないが今後取り組みたい」の割合は最も大きい。また、「取り組む意向はない」の割合は1990年代に設立された団体で最も大きくなっている。

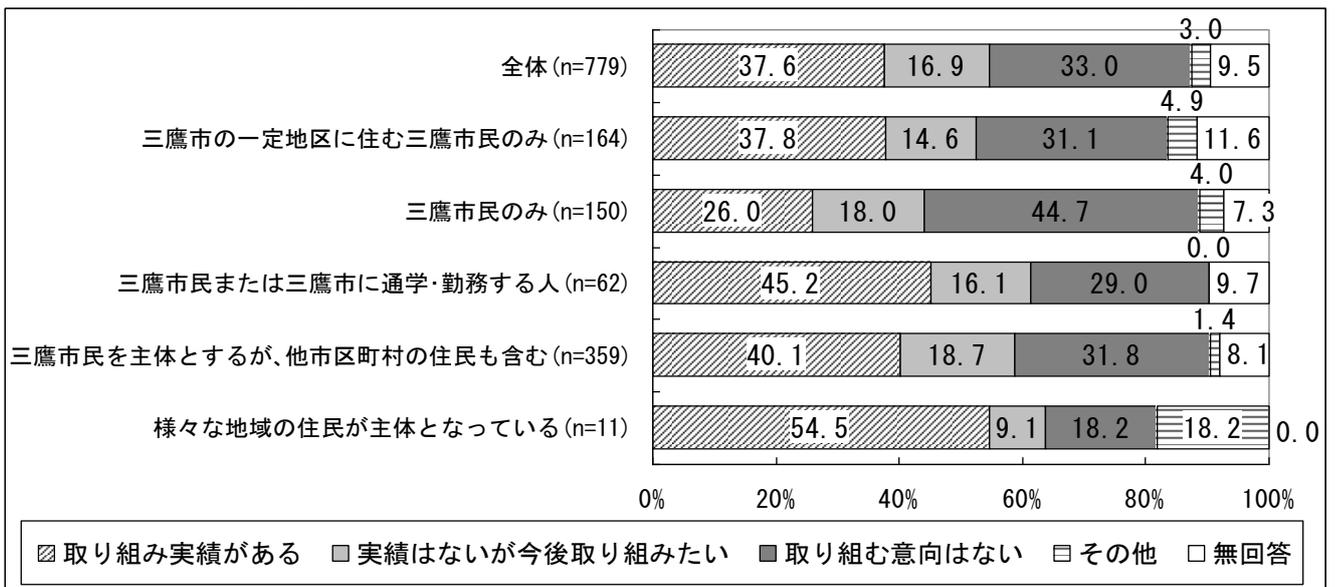
図表 52 設立年別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■構成メンバー別に見た特徴

様々な地域の住民が主体となっている団体はサンプル数が少ないため参考にとどまるが、過半数が「取り組み実績がある」としている。一方、三鷹市民のみの団体は全体と比較して「取り組み実績がある」の割合が小さく「取り組む意向はない」の割合が大きい。

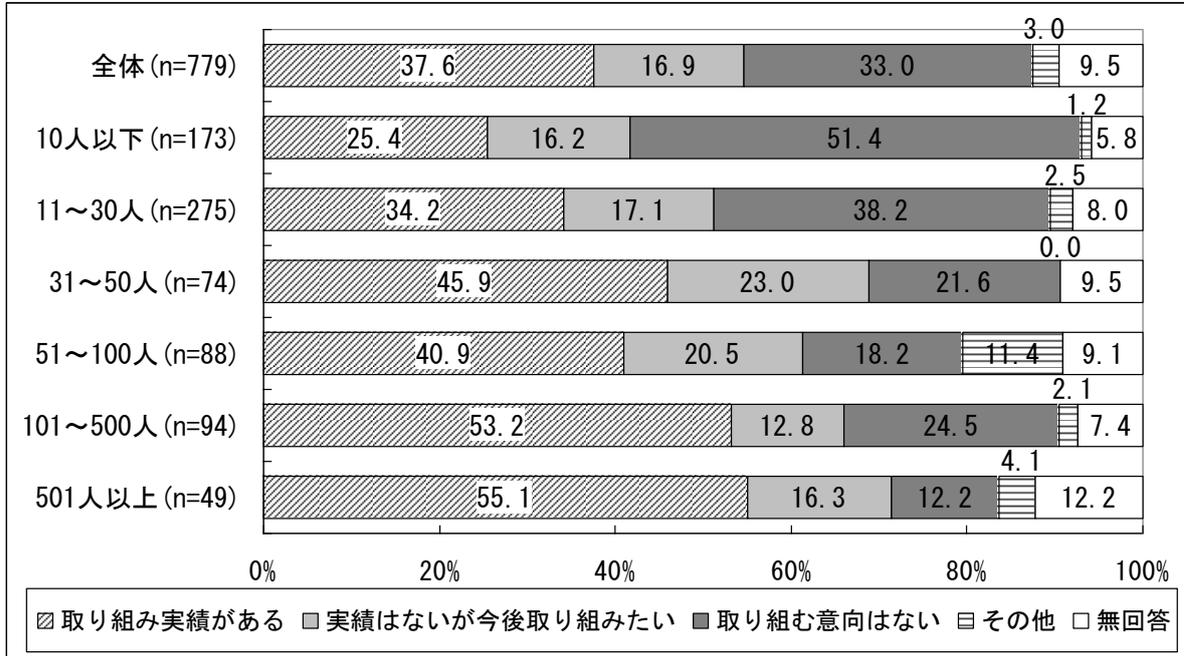
図表 53 構成メンバー別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■会員数規模別に見た特徴

概ね会員数規模の大きな団体の方が「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合が小さい傾向が見られる。

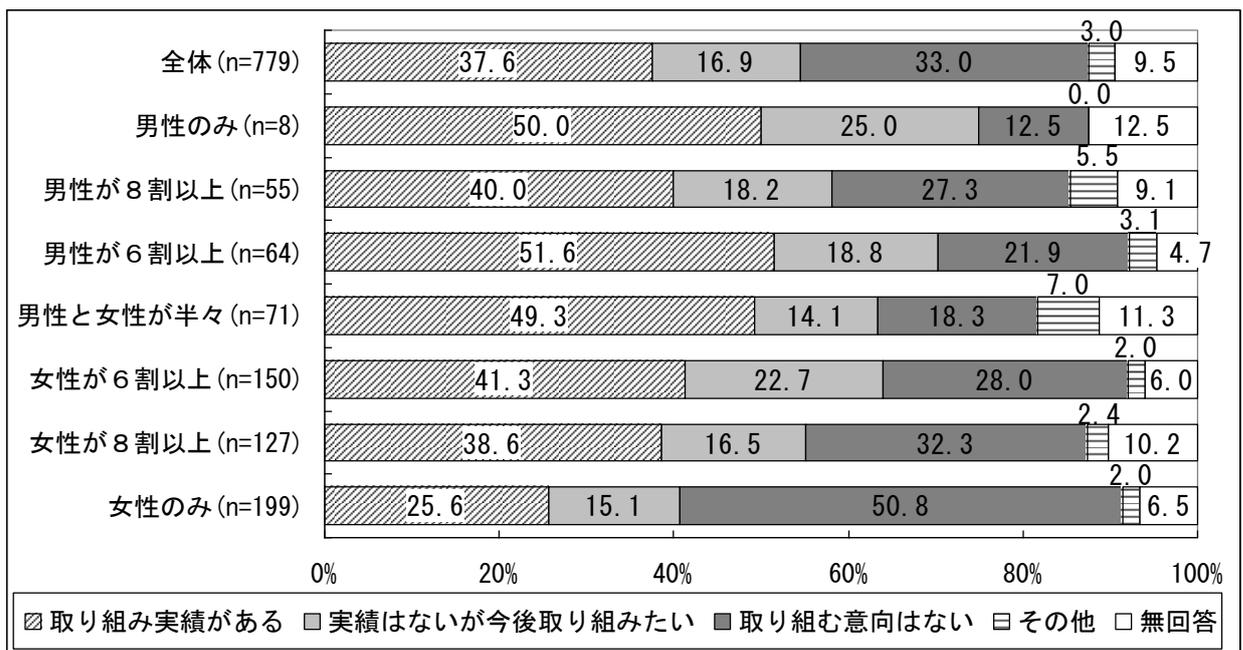
図表 54 人数規模別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■会員の男女比別に見た特徴

全体と比較して、男性が6割の団体が「取り組み実績がある」の割合が大きく、次いでサンプル数が少ないため参考にとどまるが男性のみの団体、男性と女性が半々の団体、女性が6割の団体となっており、概ね男女比のバランスが取れている団体ほど「取り組み実績がある」の割合が大きくなっている。また女性だけの団体では「取り組む意向はない」の割合が特に大きくなっている。

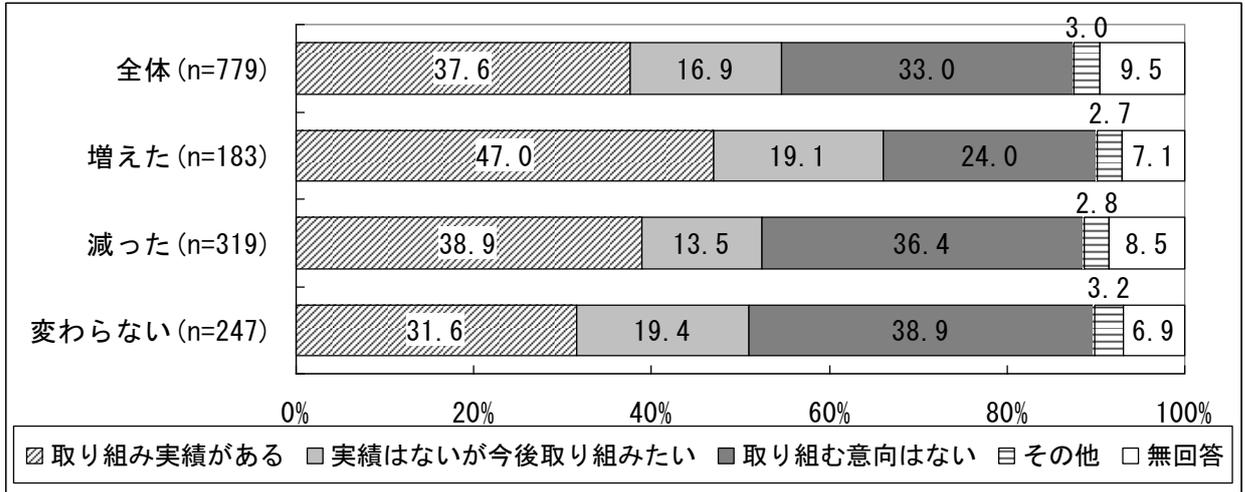
図表 55 会員の男女比別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■会員数の変化別に見た特徴

過去10年で会員数が増えた団体では「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合は小さい。

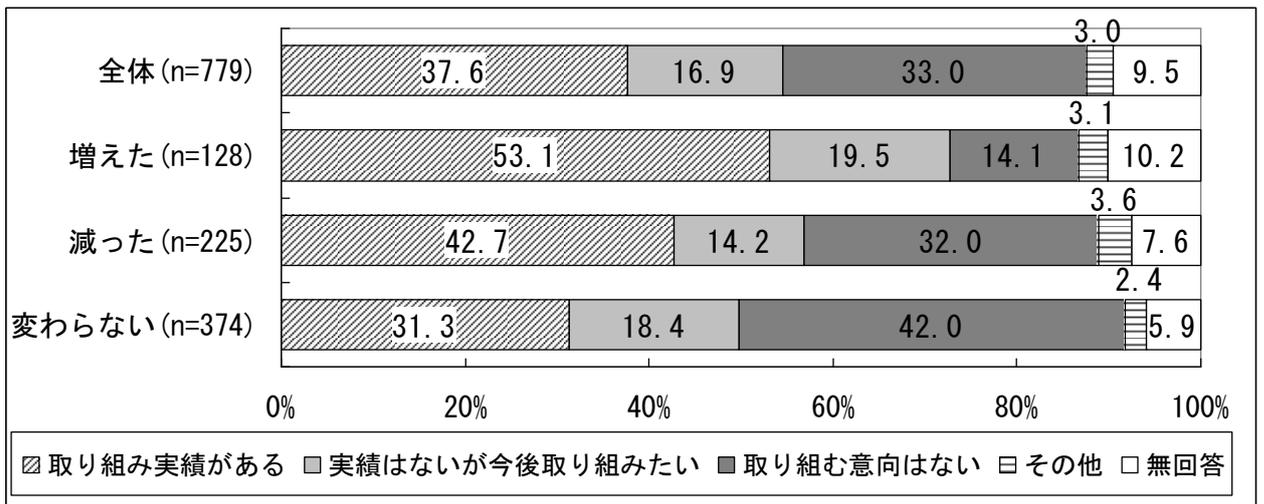
図表 56 会員数の変化別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■中心的な担い手の変化別に見た特徴

過去10年で中心的な担い手が増えた団体では「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合は小さい。

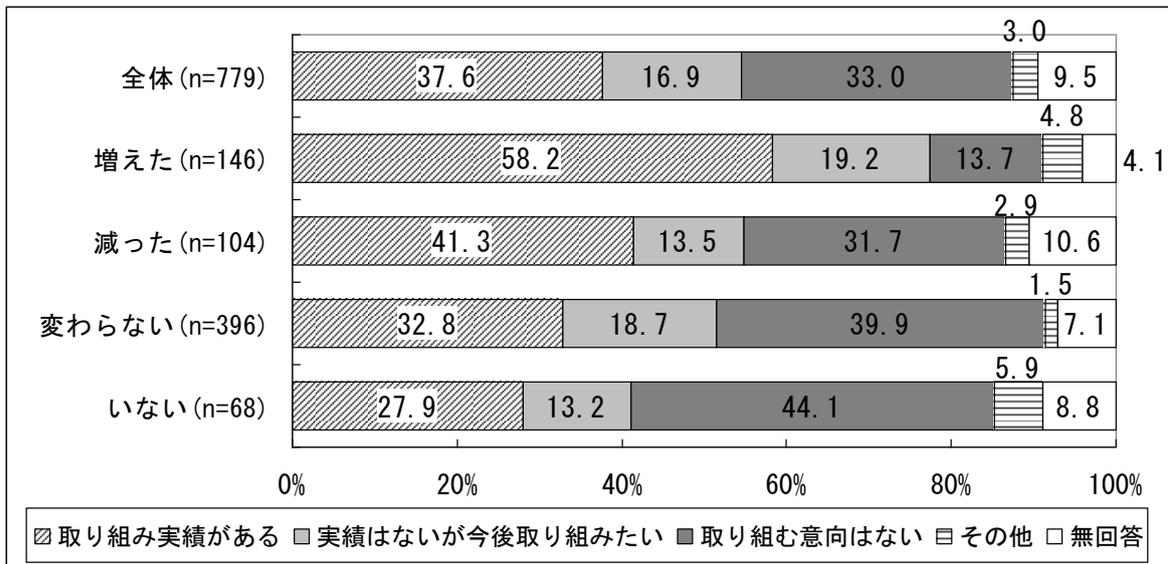
図表 57 中心的な担い手の変化別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■専門的な人材確保の状況別に見た特徴

過去10年で専門的な人材が増えた団体では「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合は小さい。専門的な人材がいない団体では「取り組み実績がある」の割合が小さく、「取り組む意向はない」の割合が大きい。

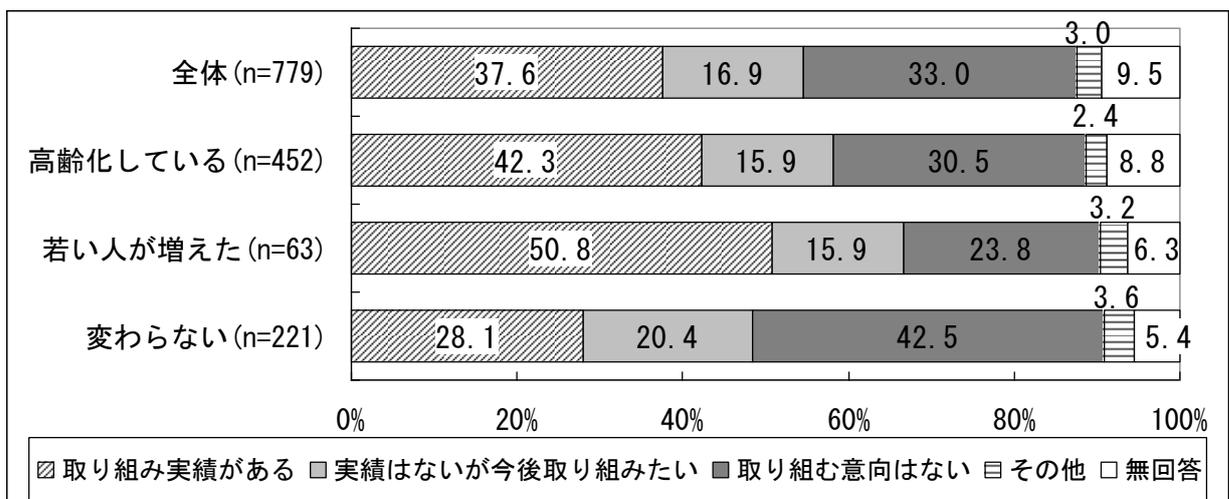
図表 58 専門的な人材確保の状況別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■年齢層の変化別に見た特徴

若い人が増えた団体では「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合は小さい。また高齢化している団体も、若い人が増えた団体に次いで「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合は小さい。

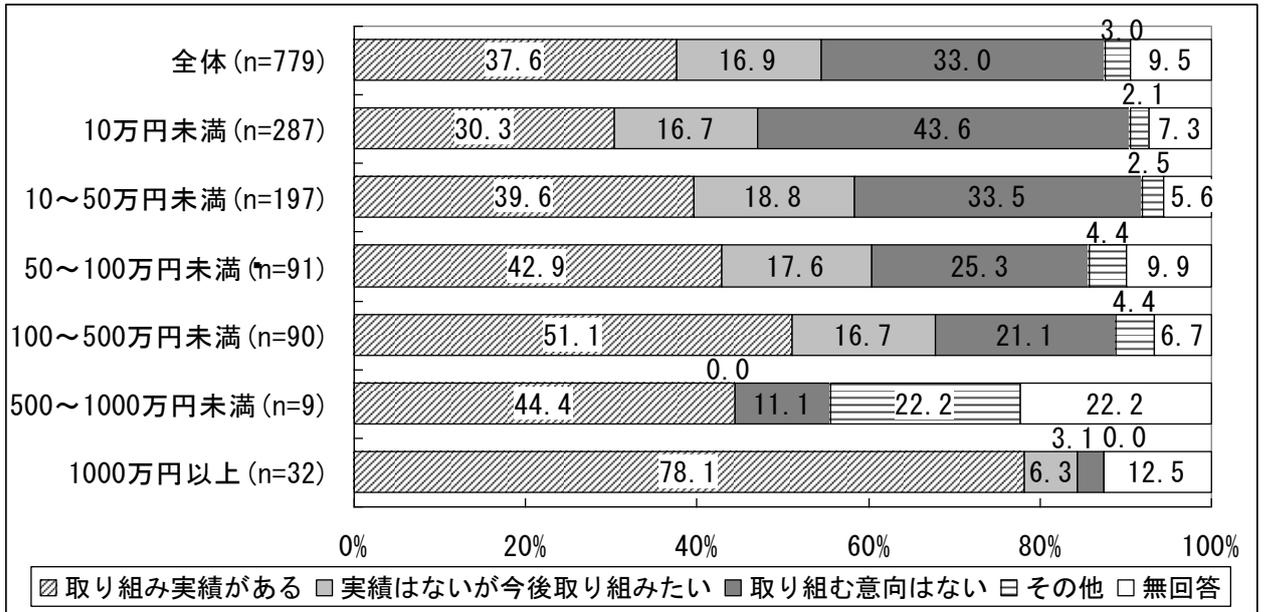
図表 59 年齢層の変化別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）



■年間収入額別に見た特徴

概ね収入規模の大きい団体ほど「取り組み実績がある」の割合が大きく、「取り組む意向はない」の割合は小さい。年間1000万円以上の団体では「取り組み実績がある」が8割弱を占めている。

図表 60 年間収入額別 他団体や自治体との協力事業の実績と意向（単一回答）

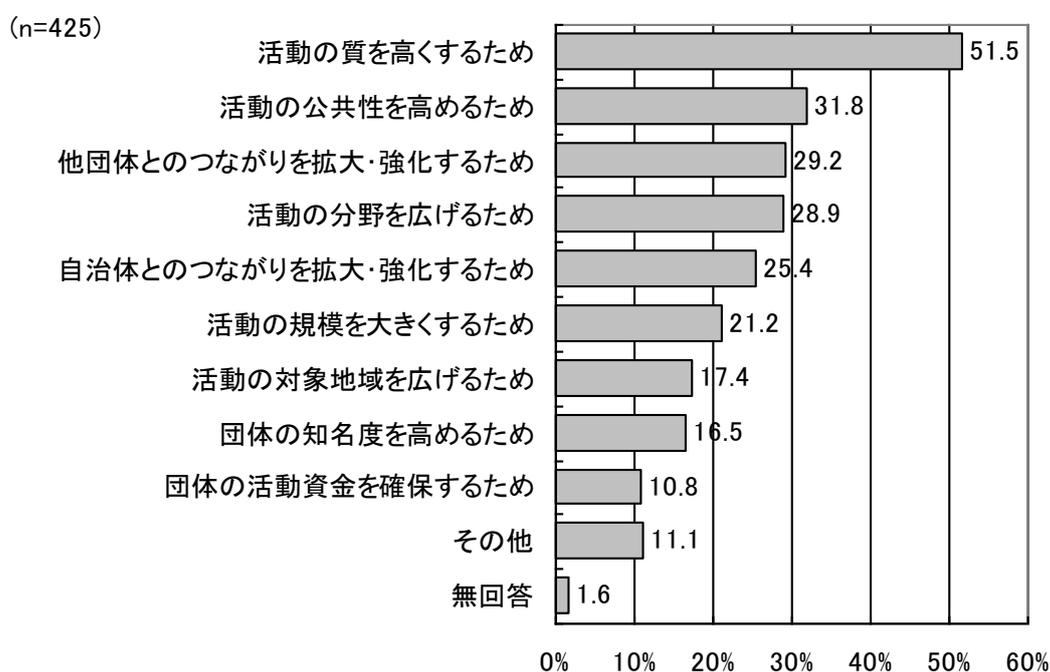


② 他団体や自治体との協力事業に取り組む理由

問3-1 他の団体や自治体と協力し事業を行う（または行いたい）理由は何ですか。
次の中からあてはまるものをすべてお答えください。

活動の質を高くするため（51.5%）が最も多く、次いで活動の公共性を高めるため（31.8%）、他団体とのつながりを拡大・強化するため（29.2%）、活動の分野を広げるため（28.9%）の順となっている。

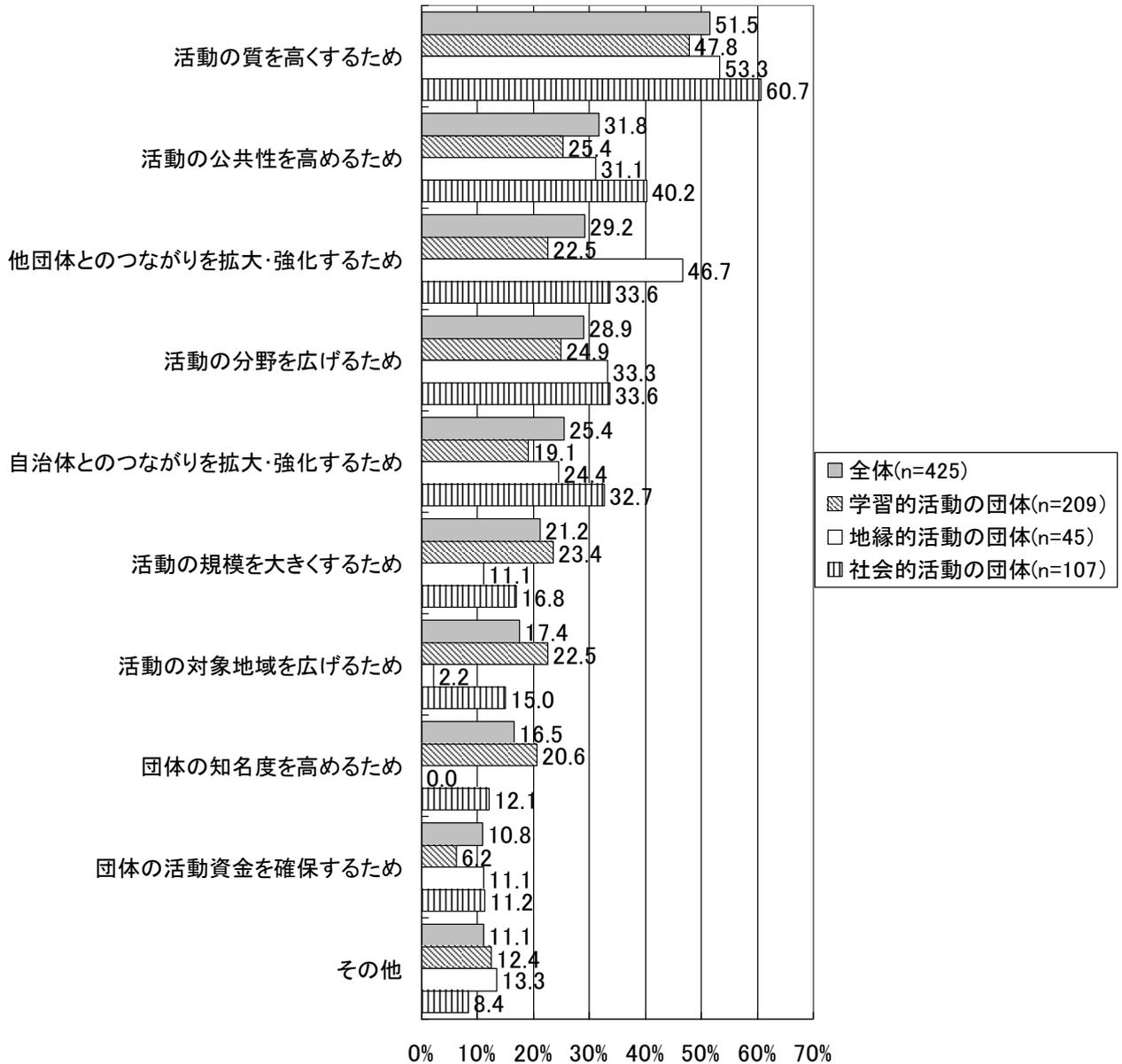
図表 61 他団体や自治体との協力事業に取り組む理由（複数回答）



■ 団体種類別に見た特徴

地縁的活動の団体において「他団体とのつながりを拡大・強化するため」、社会的活動の団体において「活動の質を高くするため」、「活動の公共性を高めるため」の割合が全体と比較して大きくなっている。

図表 62 団体種類別 他団体や自治体との協力事業に取り組む理由（複数回答）



3 三鷹市のまちづくりについて

(1) 活動を通じて認識している地域やその他の諸課題

問4 あなたの団体が、活動を通じて認識している地域やその他の諸課題は何ですか。以下の欄に具体的にご記入ください。

活動を通じて認識している地域やその他の諸課題について、自由記入による回答内容を類似意見ごとに整理すると下表のとおりであり、生涯学習施設の充実・生涯学習活動の活性化が最も多く、次いで、スポーツ施設の充実・スポーツ活動の活性化、高齢化の進展とそれに対応した高齢者福祉・介護施設及びサービスの充実、コミュニティ施設の充実・コミュニティ活動の活性化、子育て支援・少子化対策などの意見が多く見られた。

図表 63 活動を通じて認識している諸課題（自由記入）（n=779）

課題の概要	類似回答件数
生涯学習施設の充実・生涯学習活動の活性化	83
スポーツ施設の充実・スポーツ活動の活性化	49
高齢化の進展とそれに対応した高齢者福祉・介護施設及びサービスの充実	49
コミュニティ施設の充実・コミュニティ活動の活性化	40
子育て支援・少子化対策	27
地域経済の振興	17
障がい者福祉・介護施設及びサービスの充実	15
交通環境の充実	13
医療・保健サービスの充実、健康づくりの促進	11
教育・人材育成の充実	11
防犯・防災、生活安全の確保	10
市街地の整備、都市景観、市街地の美化、公園・緑地・広場の充実	8
市民団体間の連携の促進	5
環境との共生・ゴミ減量化	5
団体や市民と行政との協働	4
その他	26

(2) 課題解決に向けて必要と考えられる取り組み

問5 問4に回答いただいた地域やその他の諸課題の解決に向けて、どんなことに取り組むことが必要だと思いますか。以下の欄に具体的にご記入ください。

活動を通じて認識している地域やその他の諸課題の解決策について、自由記入による回答内容を類似意見ごとに整理すると下表のとおりであり、地域の人々や団体の協力・連携の強化が最も多く、次いでスポーツ施設の整備・拡充及び運営の改善、生涯学習施設の整備・充実及び運営の改善、行政による個人や団体への支援、行事・イベントの充実などの意見が多く見られた。

図表 64 活動を通じて認識している諸課題（自由記入）（n=779）

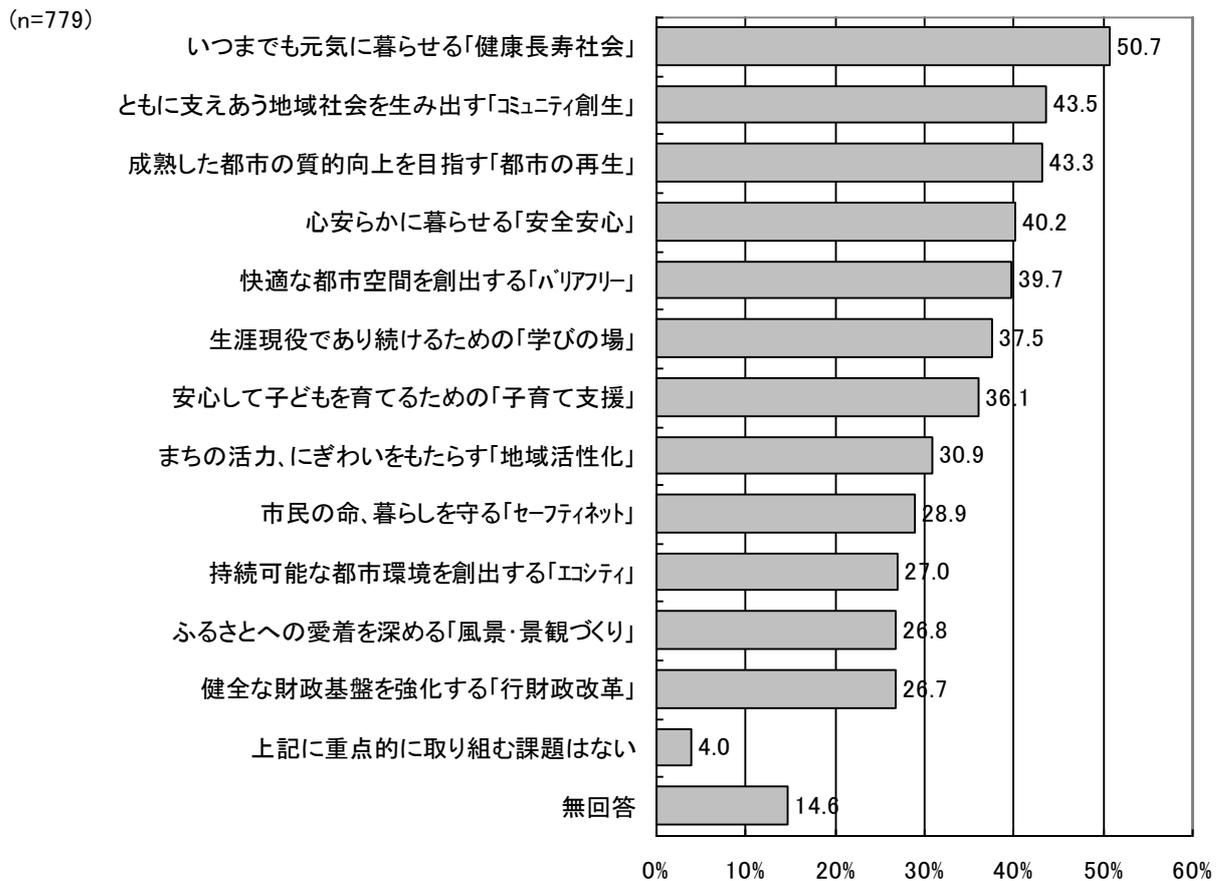
内容	類似回答件数
地域の人々や団体の協力・連携の強化	57
スポーツ施設の整備・拡充及び運営の改善	44
生涯学習施設の整備・充実及び運営の改善	42
行政による個人や団体への支援	32
行事・イベントの充実	24
まちづくりへの市民参加に係る啓発の強化	19
団体の情報や行政情報の公開・提供の充実	19
まちづくりを担う人材の確保	18
コミュニティ施設の整備・充実及び運営の改善	17
子育て支援の施設やサービス内容、提供体制の充実	17
効果的・効率的な行政運営	14
産業・経済の振興・就労支援	12
交通不便の解消	10
福祉の施設やサービス内容、提供体制の充実	9
施策・事業の検討にあたり市民や団体のニーズ・実態把握の強化	9
家庭・学校教育の強化・充実	8
その他	36

(3) 今後の取り組み

問6 あなたの団体が、今後も引き続き重点的に取り組む必要があると思うものすべてについてA～Mの中から選び、記号の左欄に○印をつけてください。

いつまでも元気に暮らせる「健康長寿社会」（50.7%）が最も多く、次いでともに支えあう地域社会を生み出す「コミュニティ創生」（43.5%）、成熟した都市の質的向上を目指す「都市の再生」（43.3%）、心安らかに暮らせる「安全安心」（40.2%）の順となっている。

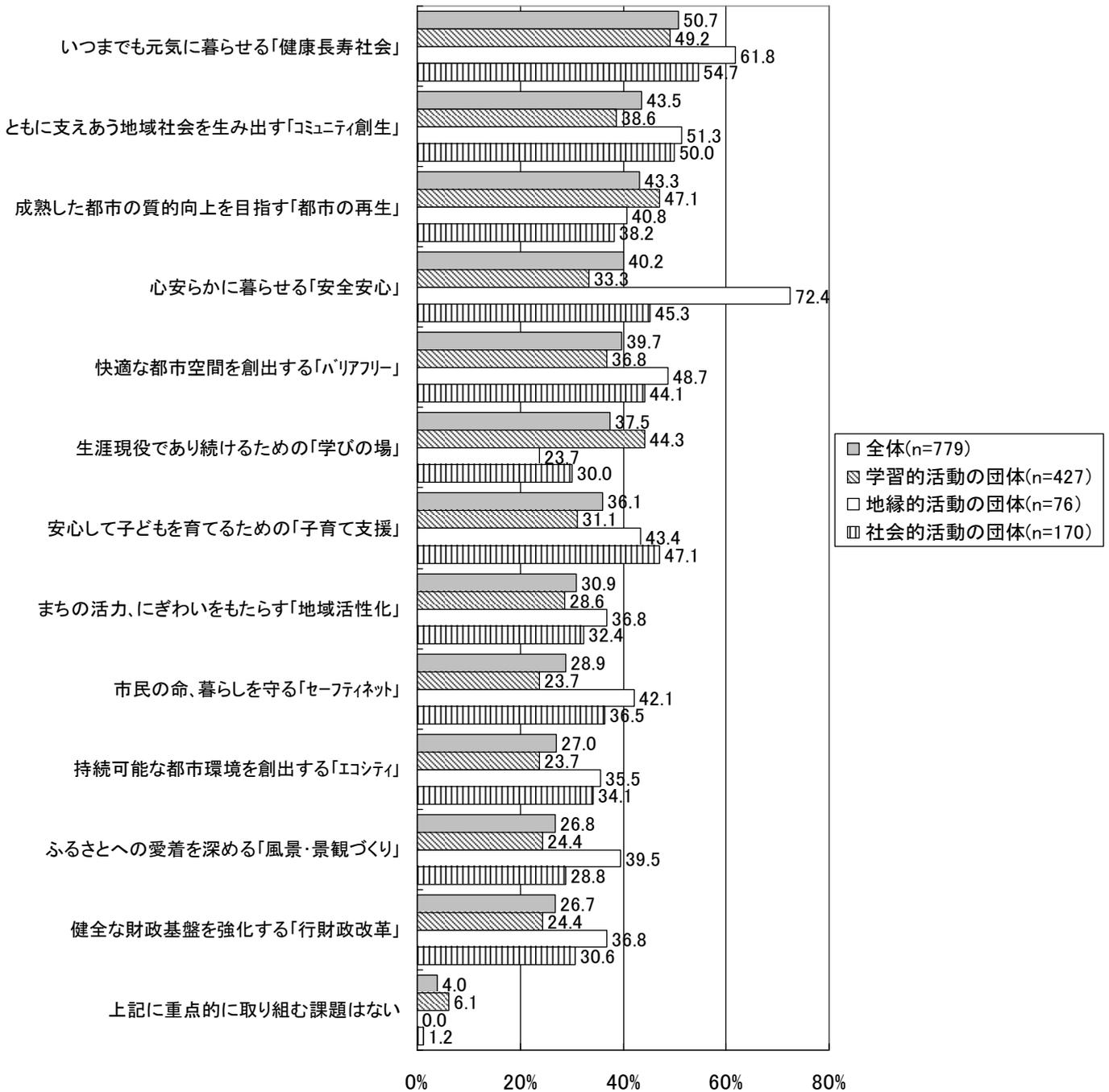
図表 65 今後重点的に取り組むべき施策（複数回答）



■ 団体種類別に見た特徴

学習的活動の団体では特に「生涯現役であり続けるための『学びの場』」、地縁的活動の団体では特に「心安らかに暮らせる『安全安心』」、社会的活動の団体では特に「安心して子どもを育てるための『子育て支援』」の割合が全体と比較して大きくなっている。

図表 66 団体種類別 今後重点的に取り組むべき施策（複数回答）



(4) その他の今後重点的に取り組むべき施策

問7 問6の重点課題に加え、今後三鷹市が重点的に取り組む必要があると思う施策があれば、ご記入ください。

問6の重点課題として提示したもの以外に重点的に取り組むべき事項について、自由記入による回答を得た。結果的に問6の提示項目と重複または関連しているものもあるが、類似意見ごとに整理すると下表のとおりであり、高齢者福祉・介護施設、サービスの充実が最も多く、次いで行財政改革の推進、道路交通環境の整備、生涯学習活動の活性化と施設整備・拡充及び運営の改善、子育て支援・少子化対策などの意見が多く見られた。

図表 67 その他の今後重点的に取り組むべき施策（自由記入）（n=779）

内容	類似回答件数
高齢者福祉・介護施設、サービスの充実	25
行財政改革の推進	24
道路交通環境の整備	23
生涯学習活動の活性化と施設整備・拡充及び運営の改善	22
子育て支援・少子化対策	19
コミュニティ活動の活性化と施設整備・拡充及び運営の改善	17
スポーツ活動の活性化と施設整備・拡充及び運営の改善	17
公共的な取り組みに関する団体や市民と行政との協働の促進や環境整備	16
公共交通の充実	13
教育・人材育成の充実	11
市街地の整備や都市景観づくり、市街地の美化、緑化	10
障がい者福祉・介護施設、サービスの充実	9
防犯・防災への取り組みの強化、安全安心な生活環境の確保	7
保健・健康	6
地域経済の振興	6
環境共生	5
その他	21

資料編

基本計画策定のための 団体意向アンケート

日頃から三鷹市政にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

三鷹市では、現在、第4次三鷹市基本計画（平成23年度から12年間）の策定に向けた準備を進めています。このたび、市内を中心に活動する市民団体・グループの皆様の活動の状況やご意向を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

調査結果は分析を行い、報告書として取りまとめ、市の様々な施策のもととなる基本計画を策定するための基礎資料とさせていただきます。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、より広く皆様のご意見を反映した市政運営のため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成23年1月

三鷹市長

清原慶子

お手数ですが、2月15日（火）までにご返送ください。

三鷹市役所 企画部企画経営課 企画調整係

〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号

【電話】 0422-45-1151（代表）内線2150

【FAX】 0422-48-1419

【E-mail】 kikaku@city.mitaka.tokyo.jp

ご記入にあたってのご注意

- ① ご記入いただいた内容については統計的に処理しますので、記入内容や団体の情報が他にもれることはありません。
- ② アンケートの内容についてのお問い合わせをする場合がありますので、団体名やお電話番号をご記入いただきますが、問い合わせ以外に使うことはございません。
- ③ あなたの団体が支部、分会等であっても、独立した活動をされるときは、その支部、分会単位でお答えください。
- ④ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合、ご意見を自由にご記入いただく場合があります。
- ⑤ 「その他」のお答えの場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ⑥ 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますが、説明にしたがって最後までおすすみください。
- ⑦ すべてのご記入が終わりましたら、記入もれがないかお確かめの上、同封の返送用封筒（切手は必要ありません）にてご返送ください。
- ⑧ 本調査の集計等は三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社に委託して行います。

団体名	設立年（活動を開始した年） 西暦 年
ご記入者名	TEL ()

※あなたの団体が支部、分会等であっても、独立した活動をされるときは、その支部、分会単位でお答えください。

まず、あなたの団体の概要についておたずねします。

F 1 あなたの団体の性格は、次にあげる種類のどれにあたりますか。主なものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1 文化・芸術・スポーツ・生涯学習などの団体	8 国際化・国際交流に関連した団体
2 ごみ問題やリサイクルに関連した団体	9 消費者活動に関連した団体
3 自然保護・緑化等に関連した団体	10 子ども会・青少年団体など、子どもの活動に関連した団体
4 学校や幼稚園・保育園などのPTAや保護者会などの団体	11 老人クラブなどの高齢者団体
5 交通・防犯・防災活動に関連した団体	12 自治会・町内会
6 福祉・健康・子育て支援に関連した団体	13 住民協議会
7 平和・人権・男女共同参画に関連した団体	14 商工会・商店会など
	15 その他 (具体的に)

F 2 あなたの団体の会員はどのような方々で構成されていますか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

1 三鷹市の一定地区に住む三鷹市民のみ
2 三鷹市民のみ
3 三鷹市民または三鷹市に通学・勤務する人
4 三鷹市民を主体とするが、他市区町村の住民も含む
5 様々な地域の住民が主体となっている
6 その他 (具体的に)

F 3 あなたの団体の会員数と、性別の構成をお答えください。

※大まかな数字でけっこうです。平成22年12月末日をめやすにお答えください。

①会員数 約 人 または 約 世帯

②性別の構成 男性が 割、女性が 割

整数・算用数字でお答えください。

③あなたの団体の活動を担っているのは主にどのような年齢層の人達ですか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

1 20歳未満が中心	4 60代～70代が中心
2 20代～30代が中心	5 ばらついている
3 40代～50代が中心	6 その他 ()

F 4 あなたの団体はどのような場所や施設を使って活動していますか。次の中から現在お使いになっているものをすべてお答えください。(○印はいくつでも)

1 あなたの団体が所有している施設	5 三鷹市以外の公的な施設
2 団体の構成員(メンバー)が所有している施設(構成員の自宅等も含む)	(都の施設・他市区町村の施設など)
3 民間企業や他の団体が所有している施設	6 団地の集会場
4 三鷹市の施設	7 公立・私立の学校関係施設
	8 自分達の活動には特に施設を利用することはない
	9 その他 ()

<F 4で「4 三鷹市の施設」とお答えの団体におたずねします>

F 4-1 あなたの団体がお使いになっている三鷹市の施設はどれですか。次の中から団体として利用したことのある施設のすべてお答えください。(○印はいくつでも)

1 コミュニティ・センター	10 福祉会館	19 小、中学校
2 社会教育会館	11 ボランティアセンター	20 保養所等(「箱根みたか荘」「川上郷自然の村」)
3 地区公会堂	12 国際交流センター	21 児童遊園、公園
4 公会堂	13 女性交流室	22 すくすく広場
5 市民協働センター	14 市民総合体育館	23 その他
6 三鷹ネットワーク大学	15 大沢総合グラウンド	[具体的に]
7 消費者活動センター	16 児童館	
8 三鷹産業プラザ	17 教育センター	
9 芸術文化センター	18 図書館	

<すべての団体におたずねします>

F 5 あなたの団体の最近3年間における平均的な年間収入総額はどのくらいですか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。会費収入、補助金収入、委託料など複数の収入項目がある場合には、その合計でお答えください。

1 10万円未満	4 100～500万円未満
2 10～50万円未満	5 500～1000万円未満
3 50～100万円未満	6 1000万円以上

F 6 あなたの団体は活動費をどのような方法で得ていますか。(○印はいくつでも)

- 1 会費や会員の個人負担等の自主財源
- 2 事業収入(バザー収入、出版物、サービス提供料等)
- 3 行政や財団、第3セクター等からの業務委託
- 4 行政や財団、第3セクター等からの補助金・助成金
- 5 民間、その他からの助成金
- 6 寄付
- 7 借入金
- 8 その他(具体的に)

次に、あなたの団体の活動内容についておたずねします。

F 7 あなたの団体の活動の対象者(サポートやサービスを受ける対象者、自主サークル・自助団体であればその構成員)はどのような方ですか。(○印はいくつでも)

- 1 乳幼児やその保護者のため
- 2 小中学生やその保護者のため
- 3 高校生・大学生など青少年のため
- 4 高齢者(介護が必要な方を除く)のため
- 5 介護が必要な方やその介護をしている方のため
- 6 すべての人々のため(特に対象者を限定していない)
- 7 その他(具体的に)

F 8 あなたの団体の活動内容について、次の中から最もあてはまるものをすべて選んで○印をつけてください。(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 会報誌やメールなどでの情報提供 | 13 その他 |
| 2 講演会やシンポジウムの開催 | 具体的に |
| 3 相談事業 | |
| 4 スポーツ・音楽など芸術文化の指導 | |
| 5 高齢者や障がい者の支援活動 | |
| 6 子育て支援事業 | |
| 7 課外学習サポート | |
| 8 バザー・フリーマーケットの開催 | |
| 9 防犯パトロール | |
| 10 交通安全活動 | |
| 11 環境・美化・リサイクル活動 | |
| 12 地域の親睦のための活動 | |

次に、あなたの団体の活動状況などについておたずねします。

問 1 10年前と比較して、あなたの団体の活動に変化はありましたか。それぞれ次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。活動年数が10年未満の団体は、設立当初と比較してお答えください。

①メンバーの人数が	1 増えた	2 減った	3 変らない
②活動の中心的な担い手となる人材が	1 増えた	2 減った	3 変らない
③活動分野の専門的知識や技術を有する人材 ^{注)} が	1 増えた 4 いない	2 減った	3 変らない
④メンバーの年齢層が	1 高齢化している	2 若い人が増えた	3 変らない
⑤活動の分野が	1 より広がった	2 狭くなった	3 変らない
⑥その他、10年前から変化のあったことがありましたらお書きください。			

注)「活動分野の専門的知識や技術を有する人材」とは、他者に指導が可能な水準の知識や技術を有する人材とお考えください。

問 2 あなたの団体が活動を継続、または発展させていくために今必要としていることは何ですか。次の中からすべてお答えください。(○印はいくつでも)

1 拠点となる活動の場の確保
2 活動に必要な設備や機器の確保・充実
3 活動資金の確保・充実
4 組織運営のためのノウハウの獲得やノウハウを有する人材の確保
5 組織運営に係る庶務・事務局機能の確保・充実
6 活動の担い手としての人材の確保
7 新たなノウハウ獲得や組織活性化のための若手世代(概ね20~30歳代)の確保
8 新たなノウハウ獲得や組織活性化のための団塊世代(概ね60才代前半)の確保
9 活動内容の向上に向けた既存の人材の育成
10 他団体や行政の情報収集の円滑化
11 自分たちの団体の情報発信の強化
12 他団体や行政との連携の強化
13 その他(具体的に)
14 特にない

問3 あなたの団体では、日頃の活動を活かして他の団体や自治体などと協力した事業の実施や事業の受託、ボランティア活動などの実績や、今後取り組む意向はありますか。次の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

1 取り組み実績がある	3 取り組む意向はない
2 実績はないが今後取り組みたい	4 その他（具体的に)

＜問3で「1 取り組み実績がある」「2 実績はないが今後取り組みたい」とお答えの団体におたずねします＞

問3-1 他の団体や自治体と協力し事業を行う（または行いたい）理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。（○印はいくつでも）

1 活動の規模を大きくするため	6 団体の知名度を高めるため
2 活動の質を高くするため	7 団体の活動資金を確保するため
3 活動の分野を広げるため	8 他団体とのつながりを拡大・強化するため
4 活動の対象地域を広げるため	9 自治体とのつながりを拡大・強化するため
5 活動の公共性を高めるため	10 その他 (具体的に)

最後に、三鷹市のまちづくり全般についておたずねします。

＜すべての団体におたずねします＞

問4 あなたの団体が、活動を通じて認識している地域やその他の諸課題は何ですか。以下の欄に具体的にご記入ください。

問5 問4に回答いただいた地域やその他の諸課題の解決に向けて、どんなことに取り組むことが必要だと思いますか。以下の欄に具体的にご記入ください。

問6 三鷹市では、下記の課題を認識し、これらの課題解決に向けて中長期的な視点をもって重点的に取り組んでいます。このうち、あなたの団体が、今後も引き続き重点的に取り組む必要があると思うものすべてについてA～Mの中から選び、記号の左欄に○印をつけてください。

- A. 成熟した都市の質的向上を目指す「都市の再生」**
- ◇東京多摩青果（株）三鷹市場跡地を活用した総合スポーツ施設を含む新川防災公園（仮称）の整備や、防災公園に合わせて公共施設を集約整備する、健康・スポーツ・防災拠点としての**市民センター周辺地区整備事業**
 - ◇三鷹中央学園第三小学校及び鷹南学園第五中学校校体育館の建替えを含む**学校施設の耐震化の推進**や、エアコン設備の段階的導入など**教育施設の環境整備**
 - ◇公会堂のリニューアルなど、施設機能や利便性の向上及び施設の長寿命化を図るための**計画的な公共施設の維持保全**
- B. ともに支えあう地域社会を生み出す「コミュニティ創生」**
- ◇コミュニティ住区を基盤として、住民協議会をはじめとする地域の市民・関係団体等が連携し、協働して取り組む**地域ケアネットワーク事業の拡充**や、高齢者や障がい者など、災害時の要援護者を支援する**地域サポートシステムの確立に向けた災害時要援護者支援事業**
 - ◇中学校区を単位として全市展開されている、保護者や地域の住民が参画する**コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の充実と発展**
 - ◇町会自治会とNPOの連携など、地域の課題解決に向けた先導的な活動を支援する「**がんばる地域応援プロジェクト**」
- C. 市民の命、暮らしを守る「セーフティネット」**
- ◇生活・就労相談や生活資金貸付等の**低所得者・離職者への支援**や、金銭管理や健康管理支援、就労支援等の**生活保護受給世帯の自立支援の推進**など、一定の所得以下の方が安定した生活を確保するための取り組み
 - ◇景況変化の影響を受けやすい中小企業者の経営を支援する**緊急資金融資あっせん事業**や、東京都と連携した**緊急雇用創出事業**の実施
 - ◇市内商業の継続と活性化を支えるための**むらさき商品券事業**や**買い物支援**
- D. 持続可能な都市環境を創出する「エコシティ」**
- ◇ごみの排出抑制や資源の循環・再生など、**ごみの減量化・資源化の推進**
 - ◇太陽光発電等の新エネルギー導入をはじめとする先導的環境活動に対する支援など、CO₂の削減や省エネルギー対策を推進する**地球温暖化対策への取り組み**
 - ◇市役所庁舎の複層ガラス化やLED照明の設置など、**スーパーエコ庁舎の推進**や**ISO14001の取り組み**
- E. 安心して子どもを育てるための「子育て支援」**
- ◇公立保育園の弾力運用による定数の拡大や、公有地を活用した民間認可保育園の誘致などの**待機児解消策**
 - ◇子育て世帯の医療費負担を軽減するための**乳幼児及び義務教育就学児医療費助成の充実**
 - ◇保育環境の改善や質の向上を図るための**学童保育所の整備拡充**
- F. いつまでも元気に暮らせる「健康長寿社会」**
- ◇母体や胎児の健康を確保するための**妊婦健診の公費負担拡大**や、がんの早期発見・早期治療を促進するための**がん検診の拡充**
 - ◇住みなれた地域で安心して暮らすための、各住区に設置した**地域包括支援センターの充実**
 - ◇良い生活習慣を身につけ、疾病の早期発見・早期治療に向けた「**健康寿命**」延伸のための**健康づくり**

G. まちの活力、にぎわいをもたらす「地域活性化」

- ◇地域経済の活性化や雇用の創出に向け、産業と生活が共生し、創造性や付加価値性の向上を目指す**都市型産業の育成や誘致、三鷹駅前再開発の適切な支援、商店街の振興**
- ◇市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）や太宰治文学サロンなど、**地域資源を活用した観光振興**「住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹」の推進
- ◇三鷹PR大使P o k i（ポキ）や、特産のキウイを使用したワイン・お菓子の開発など「**三鷹ブランド**」の創出や、**農商工連携の推進**

H. 快適な都市空間を創出する「バリアフリー」

- ◇連雀通り整備の推進や自転車専用道の整備など、交通混雑緩和や地域交通円滑化に向けた**道路整備**
- ◇既設歩道の段差解消、電柱の移設等による**歩行空間の整備**
- ◇みたかバスネット（コミュニティバス）の推進による**交通不便地域の解消**

I. 心安らかに暮らせる「安全安心」

- ◇安全安心市民協働パトロールの充実や、地域安全マップの活用などによる**防犯力の向上**
- ◇防災関係機関の連携訓練強化や、自主防災組織などの**防災活動の充実**
- ◇地震や浸水などの自然災害や、新型インフルエンザなどの感染症に対する**危機管理体制の構築**

J. ふるさとへの愛着を深める「風景・景観づくり」

- ◇3つの里（牟礼・丸池・大沢）の整備に加え、東京外かく環状道路の中央ジャンクション蓋かけ部分を活用した北野の里（仮称）づくりに向けた取り組みなど、**花と緑のまちづくりの推進**
- ◇自然やまちなみ、建造物の保全や、良好な住環境を整備するための**地域特性を生かした風景の創出、市街地の形成や、都市農地の保全**に関する取り組みの強化
- ◇大沢の里水車経営農家の新車（しんぐるま）動態保存や大沢二丁目古民家の復原整備など、**地域文化財の保護・活用**

K. 生涯現役であり続けるための「学びの場」

- ◇「民学産公」の知的資源を活用した**三鷹ネットワーク大学の講座の充実や協働研究事業の推進**
- ◇生涯学習など**多様な学習機会の提供**や、文化の薫り高い**芸術文化の振興**
- ◇ICTタグの活用による利便性の向上や、**地域の情報拠点としての図書館サービスの充実**

L. 健全な財政基盤を強化する「行財政改革」

- ◇職員の定数管理、適正配置及び給与の見直しなど、**組織の簡素化、効率化**
- ◇自校方式による給食調理業務の委託化など**民間活力の活用**
- ◇市税や各種利用料等の収納率の向上による**市歳入の確保**

M. A～Lに重点的に取り組む課題はない

問7 問6の重点課題に加え、今後三鷹市が重点的に取り組む必要があると思う施策があれば、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、**2月15日（火）**までにご投函ください。

第4次三鷹市基本計画策定に向けた
団体意向調査報告書

平成23年3月発行

発行 三鷹市
調査委託 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
編集 三鷹市企画部企画経営課
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
電話 0422-45-1151（代表）